

日整広報 はつらつ

公益社団法人 日本柔道整復師会・機関誌
www.shadan-nissei.or.jp

VOL. 229
NOV. 2014

11



巻頭言 快進…副会長 萩原正和

- ◎本流 §5. 縁(伝統)と絆(創造)で地域を守る 会長 工藤鉄男
- ◎平成26年度全国保険部長会議報告
- ◎柔整サロン 技術を高め、人間性を磨く 加藤貞利
- ◎第23回日整全国少年柔道大会・第4回日整全国少年柔道形競技会・第38回日整全国柔道大会
- ◎平成26年度学術・生涯学習講習会報告
- ◎第41回日整親善ゴルフ栃木大会
- ◎チンギスハーンの国

●目次

● 巻頭言 快進 副会長 萩原正和	1
● 理事会だより	4
● 本流 § 5. 縁（伝統）と絆（創造）で地域を守る 会長 工藤鉄男	6
● 平成26年度全国保険部長会議報告	8
● 柔整サロン 「技術を高め、人間性を磨く」	12
■ 第23回日整全国少年柔道大会	17
■ 第4回日整全国少年柔道形競技会	22
■ 第38回日整全国柔道大会	23
■ 平成26年度学術・生涯学習講習会報告	30
● 第41回日整親善ゴルフ栃木大会	34
■ 平成26年度第2回指導者候補日本研修開講式	38
■ 数多の功績残す 故吉田充孝前会長お別れの会	39
■ モンゴル国立医療科学大学付属看護大学 設立85周年事業及び第3回国際看護学会	41
● NHK 国際放送 NHK ワールドで放送されました!!	42
● 連載その③ チンギスハーンの国	43
● 平成26年度日整主催学術大会一覧	44
● 会務執行状況	45
■ 学術大会会員発表動画配信	46
日整 HP からご覧いただけます	47
● 本の紹介 熱く生きる	48
● ちょっといい話 北海道へジンギスカンを食べに来ませんか?	49
● 私の夢 「夢」	51
● ちょっといい話 木曾馬が生まれました	52
■ 日整フォーラム 国民のため、地域住民のため、患者さんのため公益活動をしてまいります	53
北海道 関東地域 栃木県 群馬県 千葉県 北信越地域 石川県 東海地域 静岡県 愛知県 近畿地域 滋賀県 京都府 和歌山県 兵庫県 四国地域 香川県 愛媛県 九州地域 沖縄県	
● 日整 HP 案内 「アンチエイジング講座」	67
■ 日整文芸	68
■ 編集後記	69
■ 表紙解説	70

●Web Page 日整ホームページ <http://www.shadan-nissei.or.jp/>

トップページの最新情報、健康情報誌「日整広報はつらつ」VOL. 229
または「日整はつらつバックナンバー」から入り当ナンバー広報誌を
クリックしてご覧ください。QRコードもご利用ください。



快 進

公益社団法人日本柔道整復師会

副会長 萩原 正和



全国の会員皆様方におかれましては、ご健勝にてお過ごしされていることと存じます。

日ごろより、本会の運営にご理解とご支援を賜っておりますこと、心より深く感謝申し上げます。公益活動をし、最重要業務に関する事柄を充実させながらも、会員皆様の目に見える状態、実感してもらえようような状態となるよう執行部全員で引き続き努めて参ります。

自民党が我が業界に関する3項目を政権公約として示しました『J-ファイル』は、我われが目指し、要望している事柄と一致しておりますが、その中の1項目である「卒後臨床研修の法制化」の準備も少しずつ整いつつあります。学校の乱立している現状ではどうしても柔道整復師として質の低下が伴い、技術が足りずに怪我を治すのだという意識も低いまま世間に出て行ってしまうのが現状で、早急にこの法制化を実現化させなくてはならないと痛感いたしております。

公益財団法人柔道整復研修試験財団との協議を重ね、本年から「柔道整復師卒後臨床研修指導者のための技術講習会」を全国各地で開催しております。これは新たに施術管理者としての資格を取得された柔道整復師を対象に、更なる柔道整復師の質と技能の向上を目的とするもので、各地方厚生局による講演や、代表理事による「柔道整復師として今後どのように社会に享受され発展していくべきなのか」についての座学のほか、包帯法、固定法、整復法などの体験型実技実習であり、今後、恒例化していくものと思っております。

更に今年から文部科学省認定による柔道整復師養成校の分野に関わる第三者評価システムが構築されつつあり、現在職業実践専門課程認定校が全国で19校となっております。詳しい内容は10月開催の日整学術・生涯学習講習会の中で説明がされる予定です。

国際部を中心としたモンゴルとの交流も、会員皆様から多くのご理解とご協力をいただき、非常に感謝しております。日本における研修も全国各地の会員皆様が研修生たちに厳しくも温かい手をかけてくださった結果、立派に柔道整復術を施せるように育ち、今やモンゴルで医学

生たちを教える立場になりつつあります。

また、以前カンボジアにて現地の伝統治療師の方々との活動がありましたが、来年は新たにベトナムが加わる予定です。このような海外での活動の広がり、日本の伝統治療である柔道整復術への理解と需要、そして必要性が大いに感じられます。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックにおいて「東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問会議」の顧問メンバーの一人として工藤日整会長が公式に参入することになりました。東京での開催が中心となりますが、全国各地で合宿、練習、試合をするケースもあります。日本全国の柔道整復師が、オリンピック・パラリンピック選手たちに対するケアができるよう、日整として全力でバックアップする予定です。

2019年、世界三大スポーツの一つであるワールドラグビー大会が開催されますが、アジア初となる会場はこの日本となります。オリンピック同様、ラグビー選手たちへのケアにも我われ日整の柔道整復師が参入、活動を起こすことになっております。

更に、来年2015年に第23回世界スカウトジャンボリーが山口県で開催され、世界162の国と地域から約3万人の青少年が訪れます。特定の地域の柔道整復師が関わることになると思いますが、これも非常に重要な舞台の一つと考えております。

世界が注目するスポーツ大会等が目白押しですが、スポーツ選手や大会参加者に対する日整会員の活躍を心より期待しております。これは日本伝統医療である柔道整復術を世界に向けてアピールする大舞台です。海外での話題が活発化すれば、日本での我われへの評価も向上するでしょう。また、海外での認知度も高まり、国外で活躍する柔道整復師が増えるかもしれません。いずれにせよ、選手にとっても我われにとってもプラスの要素が非常に多い機会となりますので、ぜひともこの機会を活用していただきますようお願い申し上げます。

日整を通じた柔道整復師業界の国際化を進めるためには、土台である柔道整復術の資質、技術力、技能力の向上が鍵となります。医療に携わるものは治療のため、患者さんのために一生をその勉強と研究に身を費やすものと私は考えています。私も含め、会員皆様一人ひとりの心構えが業界全体に影響を及ぼすものと思っておりますので、日々の業務はもとより日整主催の各都道府県学術大会やさまざまな勉強会などを通して知識と経験を積んでいってほしいと思っております。

柔道整復師の業務の改善の一つである交通事故等の違反広告について、既に承知のこととは思いますが、平成25年度開催の厚生労働関係部局長会議や全国医制局主管課長会議において「広告可能事項に該当しない『交通事故』といった文言や料金について、広告することは認められないことから、違法広告のある施術所の開設者に対する指導の徹底を図りたい」という内容の通達が2度にもわたり発せられました。これを受けて、現在日整では全国の会員に対し注意を促し、適正化へ向けて協力をしているところであります。誤表示をしている会員は、早急に不適切部分を削除するなどの対応をお願いいたします。日整の会員であるという誇りと自覚を持って、日々の業務に取り組んでいただきたく存じます。

平成26年8月広島県に起きた突然の大雨・土砂災害において、非常に多くの方が災害に遭われ、またお亡くなりになられた方もおり、心よりお悔やみ申し上げます。このような災害の中、

会員は皆無事であったとのこと、安堵しておりますが、東北での大震災に続く今回の災害は、将来、日本のどこで起こっても全く不思議ではありません。日整は災害対策としてDJATを立ち上げ、対策に取り組んでいるところであります。改めて、各県各地域における災害時活動を再確認する必要性を痛感させられました。通信手段が途絶えてもマニュアルに沿った行動ができるように、また怪我をされた方がいれば治療できるように災害対策と準備を十分に整える必要があります。また、各地域との連携策として、警察、自治体、医師会等との協定を締結するなど検討事項に入れ、パニック時の冷静な判断と行動を取れるよう、それぞれ事前の対策を考える必要があります。

通常時における地域との連携および密着化を加速させる起爆剤ともなるべく、我われ「柔道整復師」としての名称が、正式に地域包括ケアシステムへのサービス提供主体の一つとして、行政から記載が正式に認められ、図式化されました。世の中の進み方が早く、社会保障の中で地域包括ケアシステムへの参入が大きく変わってきており、先を見越した対策や知識力を強化していかななくてはなりません。そのため、全国での地域包括ケアシステムの参入を積極的に進めていただきたく思います。日整保険部介護課で作成したパンフレットなど活用しながら、一人でも多くの方々に理解していただき、参入の一助となれるよう、各地域で体制を組んで臨んでいただきたく存じます。

各地での団結力は全国にも通じます。全国43都道府県の社団が公益社団法人として認定され、事業を展開しております。更に、全国都道府県社団の名称が統一の方向で動いております。東京都もこの8月1日から「東京都柔道整復師会」として名称を変更しております。今後、全国全ての社団の各種が統一されるものと思っております。この名称統一、公益社団法人化により、日整の団結力は更に強固なものになるものと期待しております。

このほかにも多種の課題が日整の前には山積しておりますが、執行部として今後の日整活動も精力的に進めていく予定です。しかし、計画や実行には当然ながら、全国の会員皆様方のご理解、ご協力が不可欠です。皆様からの温かく強力なご支援をいただくことで日整組織は快進していくことができますので、引き続き日整への力強いお力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

理事会だより

総務部

<平成26年度 第5回理事会>

開催場所	日本柔整会館2階理事会室
開催日時	平成26年7月28日(月)午後1時 ～午後3時45分
理事現在数 及び定足数	現在数18名 定足数10名
出席者	理事18名中18名出席 工藤、木山、萩原(正)、豊嶋、 佐藤、松岡、永田、萩原(隆)、 阿部、市川、山崎、伊藤(宣)、 三橋、高崎、大西、原、伊藤(述)、 富永
理事外の出席者	内山監事、岡本監事
司会	豊嶋総務部長
開会の辞	木山副会長
議 長	工藤会長
閉会の辞	萩原副会長

<会議の概要>

理事会開催前に、日整全国少年柔道大会・日整全国少年柔道形競技会・日整全国柔道大会の組み合わせ抽選を行った。

冒頭で議長が司会進行を総務部長に依頼し会議が開始された。最初に定足数を確認し、議事録署名人は定款第38条に基づき工藤鉄男会長と内山富之・岡本和久両監事であることを確認した。

<議 題>

第1号議案『吉田充孝先生のご逝去に伴う処置について』

総務部長より議案について説明があった。保険部長であった吉田充孝先生のご逝去されたことに伴い、審議の結果、保険部長を新任し、三橋裕之理事を保険部長とすること、柔道整復療養費検討専門委員会の委員に伊藤宣人理事を推薦すること、また、理事会推薦で吉田充孝先生に帰一功労賞を表彰することを、承認可決した。

第2号議案『全国少年柔道大会における形演武に伴う費用負担について』

総務部長より、5月5日開催の全国少年柔道

大会へ、日整から派遣する形演武の選手団の費用負担について説明があり、審議の結果、交通費および保険料については日整負担とすることを、承認可決した。

第3号議案『日整全国少年柔道大会・日整全国少年柔道形競技会・日整全国柔道大会について』

総務部長より議案について説明があった。日整全国柔道大会功労表彰者(20回出場1名、10回出場4名を含めた12名)と日整柔道形講習会功労表彰者(受講回数5回以上3名)の表彰ならびに第5回世界柔道形選手権大会で優勝した4名「柔の形：大森千草(長野県)・横山悦子(福井県)、固の形：中山智史・林聖治(岐阜県)」への特別表彰の提案があり、承認可決した。なお、世界大会5連覇を達成した柔の形の2名に対する表彰内容についても検討し、原案を承認可決した。また、日整全国柔道大会における形演武者(計4組)の選考について並びに柔道大会来賓宛に案内状を送付する提案を、承認可決した。

第4号議案『平成27年度 日整柔道形講習会の実施について』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、平成27年度は日整柔道形講習会の実施を、承認可決した。なお、日整柔道形講習会への参加が、昇段のポイントとなるよう交渉することとした。

第5号議案『入退会等の手続きについて』

総務部長より議案について説明があった。審議の結果、6月22日通常総会において承認された規程の内容に沿った「入退会等の手続きについて」改正案を、承認可決した。

第6号議案『富山大学寄附講座について』

学術部長より議案について説明があった。3年間延長することとなった富山大学寄附講座「寄附申込書」の内容について確認をし、原案どおり承認可決した。

第7号議案『モンゴル国立医療科学大学ランバー理事長ほか招聘について』

国際部長より議案について説明があった。10

月12日開催予定の学術・生涯学習講習会において、招聘予定のモンゴル国立医療科学大学ランバー理事長に、講演を依頼する提案を、承認可決した。なお、来日スケジュールについては改めて国際部を中心に確認の上、報告していくこととした。

第8号議案『学術・生涯学習講習会について』

学術部長より議案について説明があった。第7号議案承認可決に伴って、10月12日開催予定の学術・生涯学習講習会タイムスケジュールを、承認可決した。

第9号議案『モンゴル国文化・スポーツ観光省からの来日中止について』

国際部長より、モンゴル国文化・スポーツ観光省関係者の来日が中止となったという報告があり、承認可決した。

第10号議案『平成26年度第1回日本研修閉講式・懇親会について』

国際部長より、8月5日開催予定の平成26年度第1回日本研修閉講式・懇親会について説明があり、原案を承認可決した。

第11号議案『モンゴル国立医療科学大学付属看護大学第3回国際看護会議出席について』

国際部長より議案について説明があった。10月9日・10日に開催予定の標記会議に、萩原副会長、萩原部長、富永理事、本間部員の4名が出席することを、承認可決した。

第12号議案『平成26年度モンゴル国派遣について』

国際部長より議案について説明があった。審議の結果、原案を承認可決した。

〈報告事項〉

- ① 定款（平成26年6月22日総会決定）
- ② 会費規程（平成26年6月22日総会決定）
- ③ 入会及び退会に関する規程（平成26年6月22日総会決定）
- ④ 通常総会議事録について
- ⑤ 理事会議事録について
- ⑥ 日整柔道大会における委員・係員について
- ⑦ 日整全国少年柔道形競技会「投の形」採点集計表について
- ⑧ 卒後臨床研修医療人研修講座日程表等の送付について
- ⑨ 柔道整復師養成プログラムにかかる評価基準作成等の検討事業の枠組みについて
- ⑩ 予算管理月報（5月分）
- ⑪ 経理部会報告書
- ⑫ 柔整療養費料金改定における検討事項
- ⑬ 平成26年度「全国保険部長会議」での講演について
- ⑭ 大韓武道学会活動報告
- ⑮ 第36回北信越学術大会石川大会、国際部発表報告
- ⑯ 第1回日本研修閉講式報告
- ⑰ 第1回日本研修中間報告会について
- ⑱ 研修施設受け入れについて（冬期）
- ⑲ 「柔道整復術」テキスト・ハンドブック、国立国会図書館寄贈について
- ⑳ 各部からの報告
 - 変更届出書 役員選任方法等の変更（内閣府提出書類）
 - 変更届出書 阿部監事逝去に伴う変更（内閣府提出書類）
 - 保険部報告
 - 公認私的研究会の変更申請について

本流

会長 工藤 鉄男

§5. 縁(伝統)と絆(創造)で地域を守る

柔道整復をはじめ「伝統」というものを考えるときに、私は代々伝え繋ぐ「縁(えん・ゆかり)」というものの存在を強く感じます。また、震災以降「絆(きずな)」という言葉をよく耳にしますが、この二つはとても似ていますが実はかなり違うものだと感じています。「縁」には、親や子・親族などの血縁にはじまり、町や村・お隣さんやお向かいさんといったその地域・集落で生きていく上で必要な繋がりである地縁などがあります。つまり、「縁」は生まれたときから自分の周りに存在しています。しかし、「絆」はもともと何の関係もなかった者同士が、お互いにその関係が壊れないように努力をして繋げていくものではないかと思えます。

例えば「夫婦」は元は他人ですが、出会い、絆を結び、愛情を深めて、それを壊さないように大切にしていきます。そこに親族同士が繋がりが、やがて子が誕生し次世代に縁を繋いでいきます。親子の縁は簡単に切れるものではありませんが、もともと縁のない者同士の絆は維持することがとても難しいものです。なぜなら、人が生きていく上でとても重要な生活習慣や食事、言葉やその微妙な意味合い、周辺環境との関わり方などの多くの価値観は、どれも生まれたときから自分の身の周りにおいて、それ自体が地域に根ざした「地縁」そのものだからです。

しかし、時代が進み、仕事の都合やより快適で便利な暮らしを求めて気軽に引っ越しを繰り返し、自分が生まれた土地から簡単に離れる人

が増えています。そうした流れは、親子の縁をも時間と距離で引き剥がし、それぞれの町の過疎化と都市化に拍車をかけています。そうして日本の各地域で縁が徐々に薄れ、地域社会が崩壊しつつあることを日本人の誰もが実感していると思います。しかし、決してそれを多くの人々が心底望んでいるわけではありません。人は何らかの形で他の人と結び合うことを求めます。「縁」が薄れてしまった現代の日本社会は、正に今、縁に代わる「絆」を求めているように感じています。しかし、縁もゆかりもない人が集まった都市では、その風景にも変化が見られるように感じます。

例えば、今年ブラジルで行われたサッカーのワールドカップ W杯の応援では、試合の日には皆が同じ青いユニフォームを着てスポーツカフェや街角の大画面ビジョンの前に集まり、日本チームが得点をすれば、そのときたまたま隣に居合わせた人と何の躊躇ためらいもなく抱き合って歓喜しますが、試合が終わった途端、皆ばらばらに町の中に消えて行きました。更にニュースで見たフラッシュ・モブ・ダンスという不思議なイベントでは、街頭を歩き交う一見全く無関係と思われる人たちが、急に流れてきた音楽に乗って突如踊り出し、その場に出くわした人々を次々と巻き込みながら、一糸乱れぬ見事なダンスを披露します。しかし、曲が終わった瞬間、何もなかったかのようにダンスをやめ、皆、転々に町の中に消えて行ってしまふのです。まさに“諸行無常”と

いった感じです。このダンスは、参加募集もインターネットで行われ、終了後に挨拶や集会をすることもなく、まるで花火のように一瞬だけの盛り上がりと一体感を実感することだけに意義を見出し、それ以降の繋がりを求めることはありません。何の縁もない者同士による現代の“新しい祭”ともいうべきこうしたイベントが求められる背景には、人間関係に必要な“縁”や“地域社会”の崩壊があるのは間違いないでしょう。

少子高齢化による人口減少、自治体の財政悪化による各地での過疎化と都市への集中によって、生まれながらにして持つはずの繋がりが(縁)を持てなくなった現代の『コミュニティ難民』の若者たちが、その代用としたのがインターネットによる“仮想の繋がりが”であり、そこから発生するダンスだったのでしょうか。そして、即席の「絆」を共有し実感することで満たされない「縁」への想いを埋めているのかもしれない。しかし、本来の「祭」は一瞬の盛り上がりを楽しむだけのものではありません。それは、世代を超えた老若男女が、それぞれの地域独特の文化を、地域ぐるみで体感し、一体化して継続的な繋がりを築くことにこそ意味があるのだと思います。そして、実際にその地域に住んでいる人たちが、その環境にあるからこそ感じている世界観や問題点を共有し合い、その土地の特産品や地元ならではの味付け、独特の衣装や踊りを交わすことで互いを深く知り、それぞれが関わり合って助け合い、支え合って繋がりを深め、皆が先祖や氏神とも繋がって、自然や町を含めた地域の環境全体に対し、また自分が今あること自体への感謝をもって地域社会を構築するのだと思います。お祭りを含めた各地域コミュニティは、そこに暮らす人と人とが将来に向けて継続的に繋がる接点として、これまで機能してきたのです。今、過疎化が進む地方の町で、安全や住みやすさといったインフラを広く平等に今後も維持するのはかなり困難な状況です。今後の日本において、どこの町でも遅かれ早かれ直面する過疎化への対策として、新たな町造りには公共施設と財政面での集中と管理が求められます。更には、いま国が進める社会保証・医療改革においても「住み慣れた町で自分らしく」といった地域重視の方向性が明確化し

ています。

人間はどんなにクールになろうとしても、その時々感情によって喜び、笑い、苦しみ、悲しみに涙します。だからこそ他者との繋がりを求め、機械のようにONかOFFに切り分けるデジタル的な思考では生きてはいけません。そして、我われ柔道整復師は、そうした地域社会に深く関わり、地域住民と一体となって残ってきたのです。

現代の最先端の検査機器は、実際に切り刻まなければ決して見えないはずの人間の断面や脳組織の奥でさえ、傷一つ付けずに、いとも簡単に映像で見せてくれます。その発展による医学への貢献は計り知れません。しかし、実際に難しい治療やその必要性を理解し納得しなければならないとき、人にはそうした検査の数値データや画像だけでは決断しきれない何かがあります。それは、不安を解消してくれる温もりや繋がった安心感が必要だからだと思います。そこに我われ柔道整復師が求められてきたのだと信じています。そして、今後も我われは地域と共に有り続けられればと願っています。

話は変わりますが、20世紀後半から盛んに使われてきた「IT (情報・技術)」という言葉にも最近変化が見られています。IとTの間にCが入りICTと言われるようになってきたのです。このCはコミュニケーションのことです。つまり、触れ合い、相互に伝え合って繋がることの重要性が、デジタル全盛期のこの時代に改めて評価され、求められているのです。我われ柔道整復師が、何百年もの時を越えて現在まで残ってきた理由こそが、この「C」にあります。我われは全てを透かし見ることができなくとも、患者さんの立場に立って、不安を解消するため、患部に触れ、痛みを共有し、分かりやすい言葉で伝え、半歩先へ歩みを進める勇気を促し、心と手を添えるのです。それが柔道整復の本来の姿です。毎日、自分の住み慣れた町で、患者さんとの新たな出会いから「絆」を結び、それを強く繋ぎ続けることで「縁」に変えていく。我われの「伝統」は、修復・固定を通じて患者さんと心で繋がりを、伝え合おうとする地道な「創造」の繰り返しによるものです。今こそ、我われ自身がその原点を想起して、縁と絆で地域社会を共に守らねばなりません。

徹底的な情報公開から生まれる 新しい保険業務への流れ



▲三橋裕之 新保険部長

平成26年10月5日(日)、台風18号が迫り来る悪天候の中、午後1時から東京上野の日整会館において全国保険部長会議が開催された。

藤川保険部員が司会を務め、萩原正和副会長による開会の辞により会議は始まった。今夏7月7日、任期中に急逝された故吉田充孝前保険部長への哀悼の意が後任の三橋裕之新保険部長より捧げられ、今後その重責を引き継ぎ、更に全力で邁進する旨の誓いの言葉が述べられた。続いて、三橋保険部長によるオリエンテーションが開始され、昨年の料金改定の交渉において、前回までの結果とは明らかに異なる内容となったことは誰もが実感されているとして、付帯事項が一つも付けられなかったことの意義の大きさについて、交渉の舞台裏での実際の押し引き等の詳細報告があった。また、消費税8%への引き上げに伴う交渉では、裏付けとなる経費率に関する部分の苦労秘話をはじめ、次回の料金改定交渉についても、日整保険部にて繰り返し練り込んで作成した、柔道整復師法の法改正を

も睨んだ壮大な内容の6項目の要望が、既に日整会長名で厚労省へ提出済みであること。また、全国介護保険担当課長会議での地域包括ケアシステムについての近況報告。更には、メディアなどでも問題となった「交通事故専門」を名乗る違法広告に対する指導が出されたことなど、多岐にわたる保険業務の最新情報について報告がされた。そして、現在は田中博人相談役のご協力を得て、厚労省のみならず、経産省・金融庁・国交省などあらゆる省庁に対し、間断なく日々相談および交渉、意見交換を繰り返しており、柔整に対する保険行政を更に前進させたいとの力強い決意を込めた挨拶があった。

続いて、工藤会長が登壇され、故吉田前保険部長への哀悼の思いが述べられた後、昨今の広島県の土砂崩れ災害、御嶽山の噴火等によって被災された方々へのお見舞いの言葉があった。続いて、当日参加された各都道府県社団の保険部長に対し「業界の中では、収入に直接関わる最重要の情報を扱うため、日ごろより会員から一番矢面に立たされている皆さんに本日お集まりいただき、最新かつ正しい情報を共有することの意義をあらためて実感している」と、この会議の最大の目的を明確にされた。その上で、昨今では、メディアで暗い報道ばかりが続き、いつの間にかこの業界で仕事することに自信を喪失してしまう会員が増え、業界全体の活力が徐々に小さくなってしまっているように感じると述べられた。同時に「我われの先達が繋げ



てきた柔道整復という技術は、日本の医療の中では、かつては西洋の蘭学・中国の漢方とも並び立つ我が国の三大医療の一つとして成り立ってきた非常に誇り高い技術であり、正しくその業を行う限りにおいて、一点の曇りなく、胸を張って日々の施術に当たって、地域の人々の笑顔を増やしていただきたいと思う」と、これまで以上に我われ柔道整復師が、更に高みを目指すべきという熱い思いを参加者全員の心に響かせた。更に、今、国が進めている社会保障改革における医療と介護の抜本的な改革に対しては「我が日整の改革への対応が、柔整の未来を握っていると言っても過言ではなく、先送りせず、一歩たりとも遅れをとることが許されない即断実行が必要な状況にある。そして、昨今頻繁に繰り返している各省庁との対応の中で、厚労省が我が柔整業界のことを決して軽んじてはいないということ強く実感している」と述べられた。その裏付けには、日本が直面する急速な高齢化と地域の過疎化への対応策には、我が柔道整復業界の存在とその実力は、既に各地域医療の見直しを進める上では無視できない存在にあることを挙げ、更に、高齢化によって毎年約1兆円ずつ増え続ける国民医療費の膨張に歯止めを掛けるためには、我われをうまく活用することが有用であることも添えられた。その一方で「我われには、今後更なる活躍の場があることは間違いないが、ただ黙っていて、誰かが勝手に我われに新たな仕事と制度を用意してくれることなどあり得ない。自ら進んで、今すべきことを考え、実行するしかない。国が新たに、この国の未来の医療と福祉の形を造り直そうとしているときに、我われが自ら動かなければ、その流れに乗ることは絶対にできない」と、改革

への思いを露わにした。

また、会議開催に向けてあらかじめ受付けた質問の中に、日整執行部の掲げる3つの重点施策に関するものもあり、それについては、急遽別途の資料を用意し、その詳細を解説した。そして最後に「この業界を正しい方向へ進めるためには、業界団体である日整の活動とは別に、純粋に学術を探究する研究者や現場の施術者を中心とした学会の存在は不可欠であり、学校協会や試験財団とも合わせた協力態勢をしっかりと構築することが必要となること。更に、日本中の柔道整復師が、知らないことによる不利益をなくすために、更なる情報公開を進め、広く国民・地域住民のためになる柔道整復師とその組織を創生しなければならない。そして、それはあくまでも我われ柔道整復師のためのものではなく、国民のためのものでなければならない」と強調し、挨拶を締めくくられた。

特別講演

続いて、今回、損害保険料率算出機構自賠責損害調査センターの八島宏平企画推進部次長より「損害調査業務に係る柔道整復療養費・施術費用など」と題した特別講演が行われた。

内容は、「自賠責の仕組み」「施術費用に関する支払基準」「施術証明書・施術費明細書作成に当たりお願いしたいこと」の三部で構成され、順を追って詳細な説明がなされた。先ず最初に自賠責（自動車賠償責任保険）は、加害者の損害賠償責任を填補するものであり、基本的に任意保険と二本立てで備えられており、それぞれの事故による傷害・後遺障害・死亡による損害を支払い対象として、国が定めた自賠責法の基準によって対応される。案件ごとに状況は異なり、一般論的な解決が用意されることもあるが、決められているものではない。また、被害者救済を第一目的としており、事故の当事者が互いに負傷されれば、双方が互いに加害者にも被害者にも相当し、それを過失割合で判断して最終的な案分をして処理することになるが、その割合については施術が完了した後でなければ被害総額も確定せず判断できないため、施術中に過失割合を気にする必要はないことなどが詳しく説明された。



▲講演する八島氏

また、施術費用に関しては、柔道整復の場合は「必要かつ妥当な実費」とされながらも、国土交通大臣および金融庁長官が定める「支払基準」に従い、事故状況との整合性等を調査の上、その金額の妥当性を評価しているとの説明があった。施術部位数や施術期間についても、あらかじめ定められた数値は存在せず、施術者側と支払者側とで食い違う場面が発生する場合もあるが、その理由等についても忌憚のない意見が示された。更に、担当する任意保険会社から「一括で請求をお願いします」との依頼がされるが、それは自賠責が支払うべき部分と任意保険が担当する部分とを分けずに、一括して請求して欲しいという意味であり、自賠責の請求部分を一括して担当するのは、本来は任意保険会社のサービスの行為であり、実際には一括で請求を受け付ける法的な義務は損保会社側にはないといった見解が示された。「時折、何らかの問題が生じて、施術途中であっても、一括払いの関係を解消するという任意保険会社があり、柔道整復師との間でトラブルになるケースが報告されますが、任意保険会社が法的に罰則を受けたりすることはありません」との説明が加えられた。こうした、これまで柔整業界側の認識と異なる、損保会社側としては至って当然とする考え方についての説明に対し、衝撃を受けた参加者もおられた様子だった。

また、傷害による損害の費目別の構成比、柔道整復施術費用の構造、柔整業界の現況として、国民医療費と柔道整復療養費の推移（推定）との比較、自賠責保険における医療費請求の現況が報告された。そして、医療機関と柔整との「費用額・件数」を過去5年間で比較し、医療機関ではその数値がほぼ一定であるのに対して、柔

整では約1.5倍に増加していること。更に、医療機関と柔整での「治療（施術）期間・実日数」の比較を統計値で示し、30日以内に治癒する割合が、医療機関の49.2%に対して、柔整は13.4%であることなど、数値的な違いを視覚的にも示された。

最後に、施術を担当して書類作成をしていただくにあたってのお願いとして、受傷状況や負傷の経過を正しく理解するためにも、一ヶ月単位での書類の発行と、特に初検時には、患者さんから直接聴取された受傷時の状況について詳しく記載していただき、施術者と保険者側とが正しい負傷状況を共有できるように役立てたいとの依頼がされ、日ごろの施術への感謝を述べられて特別講演は終了した。

徹底的な情報公開

休憩を挟み「各県で抱えている諸問題について」の報告が行われた。通常の学会開催の地域ブロックとは別に、全国を「北海道・東北」「関東・甲信越」「東海・北陸・近畿」「中国・四国」「九州・沖縄」の5つの地域ブロックに区切り、あらかじめ各都道府県社団から提出された質問と課題などから、「課題」「報告」「要望」等をまとめ、そこへの回答と解説をそれぞれの地区を代表する各保険部員が分担するスタイルで、手元には多くの資料が配布され、会場ではスクリーンの大画面にプロジェクターによる表示を行い、一件ごとに丁寧な説明と報告がされた。内容については、「不適切な患者照会」による弊害事項をはじめ「“保険者がやむを得ないと認めたとき”や“長期にわたる施術”」に対する解釈について「3ヶ月を経過していない場合でも頻回理由を求められる」「医療機関との対診・併診」など、示された事例もその判断も多岐にわたり、内容が重複する質問や要望は、一つにまとめて応答がされた。また、個別の回答では、保険部から参照となる資料として、行政からの通知文書や支給基準に示された項目などが提示され、裏付けとなる点についても適切な回答が示された。



▲藤川部員



▲関部員



▲塚崎部員

続く「意見交換・討議・質疑応答」では、実際に各事案を担当している地域の保険部長から、詳細ポイントについての法的な裏付けの確認や実際に説明に当たる際の要点や方法論についての質問だけでなく、各県での対応のばらつき等の指摘も出るなど、非常に活発な質疑と多くの要望が出された。

そこへの返答は、その都度、三橋保険部長による適切な回答と対応方法が示され、加えて問題提起した県とは別の地区で、同様の案件に対して、実際にうまく対応できた場合の報告等も併せて示された。

そして「本日の会議は、非常に内容が濃く役立った。しかし、3時間では

短く、次回は午前中から一日かけて行っていただきたい」との要望も出され、これまで以上に、参加者相互の情報交換およびスキルアップが積極的に行われたのは確かなようだ。

続いて、豊嶋良一総務部長より、自賠責に関する重要なデータ等について、各県会長への資料送付に関する報告と対応依頼があった。また、それを受け、工藤会長からは「本日の会議で発信された多くの情報を必ず自県へ持ち帰って報告をし、日整会員全員での情報の共有を進めていただきたい」との指示が出された。

最後に、木山時雨副会長の閉会の挨拶にて、会議は滞りなく終了した。



▲刈谷部員



▲鹿野部員



▲加藤部員

柔整サロン

技術を高め、人間性を磨く 医師と学校長の立場から

医療法人北海道整形外科記念病院院長

加藤 貞利 先生に聞く

聞き手 公益社団法人北海道柔道整復師会会長 萩原 正和
司 会 公益社団法人北海道柔道整復師会広報部長 高山 訓正

今回、医療法人北海道整形外科記念病院院長であり、今年度から北海道柔道整復師会附属北海道柔道整復専門学校^{（仮称）}の学校長に就任された加藤貞利先生に、専門分野である上肢の疾患に対する最近の診断・治療について、また今後柔道整復師に求められること、更に学校長として学校、生徒たちに対するお考えなどについてお話をいただきました。

高山 ご多忙の中、今回のインタビューを快諾していただき心よりお礼申し上げます。本日はよろしくお願いいいたします。では、最初に萩原会長より一言ご挨拶をお願いいいたします。

萩原会長 本日は多忙の中、ありがとうございます。早速ですが、先生の現在までの経歴、整形外科医として我われ柔道整復師との関わりなど詳しくお聞きしたいと思っております。また、先生におかれましては、今年度から北海道柔道整復専門学校^{（仮称）}の学校長に就任していただきました。学校長の立場から学校、生徒たちに対するご感想などについてお聞きしたいと存じます。本日はよろしくお願いいいたします。

加藤先生 こちらこそ、よろしくお願いいいたします。

■『痛み』を除去する仕事は医者として本当に大切

高山 はじめに医師になろうとした（整形外科の分野を選択された）動機について教えてください。

萩原会長 加藤先生の家系は代々医師であるとお聞きしておりますが、そのような中で育

ったこともきっかけになったのでしょうか？

加藤先生 私の家は代々医師の家系で私は9代目に当たります。先祖は熊本の出身で、何らかの理由で江戸に出てきたようで、南部藩の殿様が盛岡に来たときに藩医として同道してきました。祖父は痛みに関する内科（いわゆる神経痛）を盛岡で開業していました。父は病院勤務の内科医でしたが、祖父の引退に伴って後を継いで開業しました。父も祖父と同様に痛みを扱ういわゆるペインクリニックを主として仕事をしていました。小さいころから『医者になる』という選択肢以外は考えたことがなかったと思います。自然に成るべくしてなっていたということです。

整形外科を選択したのは祖父や父がペインクリニックで、すなわち内科的に『痛み』を治療していたのに対して、外科的に痛みをとる仕事をしてみたいと思ったからです。今思うと、違った角度から『痛み』の治療を考えてみたかったのだと思います。父からは祖父の言葉として、医者は『命』を扱うか『痛み』を扱うかに大きく分かれるが、生きている人間の『痛み』を除去する仕事は医者として本当に大切なことであると、小さなころから聞かされていました。



【プロフィール】

加藤 貞利

生年月日

昭和26年4月2日

経歴

昭和52年：北海道大学医学部卒業

昭和59年：アメリカ・マイアミ大学整形外科留学

昭和60年：医学博士学位授与

昭和61年：北海道整形外科記念病院に勤務

平成04年：北海道整形外科記念病院副院長

平成23年：北海道整形外科記念病院院長

役職

北海道整形外科記念病院院長

日本手の外科学会評議員

日本肘関節学会評議員

北海道社会保険柔道整復師施術療養費審査委員会委員長

北海道柔道整復師会付属北海道柔道整復専門学校校長

所属学会

日本整形外科学会

日本肩関節学会会員

日本手の外科学会

日本手の外科学会評議員

日本肘関節学会

日本肘関節学会評議員

日本整形外科学会認定スポーツ医

北海道整形災害外科学会

萩原会長 痛みを和らげるという点では、まさに柔道整復師も考えるところは同じで、そのためにもどのような治療方針を立てるかというところから仕事が始まります。

加藤先生 人が生きていく上で痛みがあるということは非常にストレスになります。患者さんは「こんなに痛いなら死んだ方がましだ」と訴えます。このときの患者さんの気持は、痛みは命と同価値であるくらい重要なことな

のです。ですから何とかしてその苦痛を取り除くのが我われの使命です。

■MRIの出現が大きい(診断学の躍進)

高山 専門分野である上肢の疾患に対する最近の診断・治療などについて、また現在の医療の問題・課題点など更にマイアミ大学研修時代も含め海外と日本の考え方や習慣・技術の違いなどについてお話いただけますか。

加藤先生 整形外科の各専門分野の中で特に上肢の外科を選択したのは、尊敬する先輩の先生が上肢の専門医であり、その先生のお誘いを受けたことが大きな理由です。上肢の疾患としては患者さんの高齢化に従って肩関節、特に腱板損傷、腱板断裂の症例が増えています。この疾患はMRI検査で確定診断が付き、治療に関してはいろいろな考え方があります。関節鏡下による腱板断裂の治療も行われますが、私はこの疾患に対しては今までのオープンによる手術の方が優れていると思っています。そのほかには手関節の疼痛も原因が明らかになってきています。特に手関節尺側の線維性軟骨板損傷という疾患は、以前は腱鞘炎などと誤診されていたこともありますが、MRIの発達によって確定診断が付けやすくなりました。線維性軟骨板損傷は一般にはTFCC損傷といわれていますが、これは手術的な治療で疼痛は除去できます。やはり整形外科の分野において診断学が進歩したのは解像度の優れたMRIの出現が大きいと思われるます。

1984年から1986年までの2年間、マイアミ大学で手の外科を学びましたが日本と異なるシステムに驚きました。アメリカの治療はお金のある人とならない人に対する診療体制がはっきりと異なります。教授クラスは自分のオフィスを持っており、お金持ちはそちらの方で治療します。お金のない人は研修医クラスの人が大学の付属病院のような所で治療します。また、同じ疾患でも術者のクラスによって手術代が異なります。

このようなシステムは日本の慣習にはそぐわないような気がしました。手術などの技術

面はアメリカと日本の間では差はありません。ただ当時から手術衣などはすべてディスポであり、1回1回捨てるので贅沢だと感じました。現在は衛生面を考慮し当院でも同じになっていますが、資源面では一考を要するかもしれません。

アメリカは入院費が高いのでどんな手術でもせいぜい1週間で退院させます。日本では在院日数が長いので現在は厚生労働省が入院日数を減らそうと努力しています。ただ患者さんを受け入れる家の構造や広さがアメリカと我が国では異なりますので、これには難しい問題をはらんでいます。

■分をわきまえて仕事をする限り何の問題もない

高山 柔道整復師（会）との関わり、また整形外科と整骨院の関係につきましてお話いただけますか。

加藤先生 柔道整復師会との関わりは十数年前に社会保険の柔道整復施術療養費審査委員会のメンバーになってからです。沢田守北海道柔道整復師会名誉会長と北大の松野名誉教授のご推薦を得てメンバーになりました。それ以降、萩原会長をはじめとする柔道整復師会の皆様方に公私ともに大変お世話になっております。整形外科と整骨院の関係につきましては、北海道柔道整復師会の故・笠井行雄名誉会長と松野名誉教授の先代教授であった島啓吾元北大教授との間で「整形外科と整骨院はお互いにその分をわきまえて仕事をする限り何の問題もない。お互いに助け合って業務を遂行して行くのが良い」との話ができ上がって今に至っております。私も全く同じ考えに立っております。実は、今のように柔道整復師の先生たちと親しくお付き合いが始まる以前から、地域の柔道整復師の先生には大変お世話になっておりました。その先生はその地方の整形外科的な治療を必要とする患者さんを私の病院にたくさん送ってくれました。しかもただ送ってくるばかりではなく、ほと



んど正しい診断を付けて送って来るのです。先生は私たちと患者さんのやりとりの中で、整形外科的疾患をしっかり学んでいたのだと思います。私たちはそこらにいる整形外科医よりも正しい診断を付けてくる柔道整復師がいるということに本当に驚きました。この例のように私たちもこれからもお互いに助け合い、共に学び合いながら患者さんのために頑張っていければと思っています。お互いの業界が共に発展していくことを願っています。

萩原会長 我われ柔道整復師をご理解、評価していただいていることに心より感謝申し上げます。この点につきましては引き続き学術の研鑽を怠らず、患者さんの痛みを軽減するためにも医接連携を取らせていただきたいと考えています。

■研修システムを検討

高山 今後柔道整復師に求められると思われることについてお話いただけますか。

加藤先生 国民医療費の抑制という観点から見て、外傷に対する保存療法の分野ではこれからますます柔道整復師および整骨院の役割が大きくなっていくと思います。現在のシステムとして柔道整復師の場合は、学校を卒業さえすれば直ちに開業することが可能になっています。仕事の本当の実力とは、実際に先輩の指導を受けて実地で訓練するということが絶対に必要です。医師の場合は前期、後期を合わせて臨床医として認定されるためには計4年間の臨床研修が必要です。柔道整復師

の場合もぜひこの研修システムを作るべきです。全体の能力の底上げがなければ、本当の意味で患者さんに信頼される業界にはならないと思っています。また整形外科医とのこれからの交流を深めていくなかで、多方面にわたるお互いの学びが必要です。すでに開業されている柔道整復師の先生も業界全体のボトムアップのために積極的に講演会、勉強会に参加して成長を続けていただければと思います。

萩原会長 おっしゃるとおり我われが対峙するのは人ですから、全ての柔道整復師が常に研鑽を積みながら新しい情報を吸収し、業務に当たる必要があるということ意識していかなければと思います。

■人間性を高める教育

高山 平成26年度から北柔専校の校長に就任されましたが、学校、生徒たちに対するご感想、また柔道整復専門学校の乱立とこれからの卒業生についてお話をいただけますか。

加藤先生 図らずも学校長に任命されました。できることは限られていますが、可能な限り学校の運営に寄与できればと思っています。先に述べたように、信頼される柔道整復師になるためには学校の教育と卒業後教育の二本柱が必要不可欠だと思います。学校の乱立はレベルの低下と裏表ですので、やはり一定の枠にはめる必要があります。イタリアのように医師が余っていてタクシーの運転手をしているという話がありますが、これでは仕事に対するモチベーションが上がりません。これから迎える高齢化社会のことを考えると、介護の問題も避けては通れません。柔道整復師であり鍼灸師でもあるという先生はたくさんおられますが、さらに介護士でもあるということは新しい時代に対する一つのアイデアかもしれません。教育という点からは、技術の教育はもちろん大切です。もう一方ではやはり人間性を高める教育が欠かせません。読書や人との交流によって人とのコミュニケーションを取れる柔道整復師になってほしいと願っています。スマホのゲームばかりをしてい

ては、人に信頼される柔道整復師にはなれないと思います。相対する人と視線を同じにして接する気持も重要になります。信頼関係を築き、顔を見ただけで「先生、楽になったわ!」と言っていただけなのは治療者冥利に尽きるのですから。

萩原会長 いろいろな相手ときちんとした会話ができ、その中から必要な説明を理解してもらえ言葉で伝える力を付けることも授業の中に織り込んでいます。これがお互いの信頼関係を築く第一歩となり、ここで初めて『手当て』をさせていただけると考えているからです。

■月曜日に来るのが待ち遠しい

高山 理念・信条・座右の銘、または患者さんと対峙する際の心構えなど、更にご自身の健康管理、モチベーションを保つ方法、努力されていることなどにつきましてお話をいただけますか。

加藤先生 私の考え方の中心となっているのは、実際に実行できているか否かは別にして、常に働く仲間を大切にすること、一緒に人生を過ごしている人たちを大切にすることです。病院を運営することの一番大切なことは、働く職員が人として、職業人として成長できる環境を整えることです。具体的には働く仲間に対しては物心両面でできる限りのことをさせていただくという考えで経営しております。その裏付けがあって初めてマニュアルどおりではない、患者さんに対するホスピタリティの気持ちが自然に現れるのだと思います。また出会う仲間、出会う患者さんも同時代の人生を共に歩んでいる仲間であるということを中心に刻んで、丁寧に対応しようと考えています。技術は良い医療の必要条件ですが、これは人が成長する過程で黙っていても身に付いてきます。時にはアドバイスすることもあります。職員を信頼して見守っています。人間性を置き去りにした技術だけの人間は、これからの時代を生き残って行くのは難しいのではないのでしょうか？自分のモチベーションという点では、もともと仕事に幸せ

を感じられるタイプの人間ですので、特に努力をする必要はありません。手前味噌で恐縮ですが、この仕事は私にとって本当に天職であると思っています。その意味ではラッキーです。仕事人生を通じて週末はもちろん楽しいけれど、月曜日が来るのもまた待ち遠しいという感じです。仕事を楽しいと思えば人生は最高に幸せなのですが、若い人には楽しいことを仕事にするのではなく、自分に与えられた仕事を楽しむ術を身に付けるように伝えたいです。どんな仕事だって面白おかしいばかりではなく、逃げ出したいような大変なこともあるのですから。ただ年を重ねて来ますと当然ですが、仕事への体力とか持久力が低下します。集中力が持続する時間が短くなりますので、手術などの実務面は以前よりは少し減らしています。また適宜休養をとって旅行をしたりして英気を養っております。

萩原会長 楽しいことを仕事にするのではなく、与えられた仕事を楽しむというのは今の学生に伝えたい。そうすることによって結果的に良い仕事に繋がっていくと思います。

加藤先生 柔道整復師の仕事を選んだことが正しかったのか悩むより自分が選択したことを正しかったことにする行動がとても重要に

なると思います。本当に突き詰めてやってみてダメであればその時にまた考えればいいのです。しかし努力した経験はマイナスにはなりません。

高山 最後に柔道整復師会・柔道整復師・柔道整復専門学校・学生に何かご意見アドバイスがあればお話しいただけますか。

加藤先生 北海道柔道整復師会は本当に人も組織も素晴らしいものだと常々感心しております。後輩の方々にはぜひ優れた諸先輩の背中を見て、北海道の柔道整復師会そして整骨院を中心とする業界の進歩発展に頑張りたいと思います。整形外科医の一人として微力ながらできることをお手伝いさせていただく所存です。本年4月の入学式の式辞でも言わせていただいたのですが、医師も柔道整復師も人に直接接する仕事です。人の話を聞いたり本を読んだりして人間について大いに学んでほしいと思います。技術ばかりではなく、人間性を磨くことによって素晴らしい柔道整復師になっていただきたいと思います。

高山 本日は長い時間にわたり、貴重なお話をありがとうございました。先生のますますのご活躍をご祈念申し上げます。



▲左から高山広報部長、加藤先生（中央）と萩原北海道会長
後列広報部員2名

青森県 念願の初優勝！

文部科学大臣杯争奪

第23回日整全国少年柔道大会

後援 文部科学省・東京都・(公財)講道館・(公財)全日本柔道連盟・(公財)東京都柔道連盟・産経新聞社

感謝の気持ちを忘れずに

平成26年10月13日（体育の日）に講道館大道場において標記大会が盛大に開催され、全国47都道府県から予選を勝ち抜いた強豪48チーム（東京はA・B2チーム）が集結した。青森県が念願の初優勝を飾った。

開会式の席上で工藤鉄男日整会長は「選手の皆様は感謝の気持ちを忘れてはいけません。予選から戦った仲間へ感謝、柔道の聖地である講道館に導いてくれた監督・コーチへ感謝、温かく見守ってくれたご家族、友人へ感謝を忘れてはいけません。武道の精神である精力善用・自他共栄の心を持って、心を鍛え、体を鍛え、人間として人格を磨き、今まで鍛錬した技術と技能を精一杯遺憾なく発揮することをお願いいたします」と述べた。



●開会式

<自由民主党稲田政務調査会長が祝辞>

柔道は日本の伝統!

<山中文部科学事務次官が祝辞>

全国の仲間と交流を深める!

<産経新聞社楠崎企画業務室長が激励>

時間は自分で作る!



▲工藤会長



▲稲田政務調査会長

台風が近づく前日の穏やかな日に、全国から選ばれた選手たちは、闘志を胸に秘め元気よく入場し、開会式が始まった。木山時雨日整副会長の開会宣言、工藤鉄男日整会長の挨拶の後、来賓として出席された自由民主党の稲田朋美政務調査会長は、挨拶の中で「皆さんが頑張っている柔道は日本の伝統です。嘉納治五郎先生は、勝つだけでなく人間性を磨くということを教えています。皆さんはオリンピックを目指していると思われませんが、今や柔道は世界の柔道になっているので、誇りを持って柔道を頑張っていたら、今日は日ごろの練習の成果を発揮してください」と述べた。

続いて挨拶に立った山中伸一文部科学事務次官は「全国から勝ち抜かれた皆さん本当におめでとうございます。柔道は日本の文化です。柔道の聖地である講道館で試合ができることを誇らしく思い、ぜひ日ごろの稽古した成果



▲山中文部科学事務次官

を十分に発揮し、全国の仲間と交流を深め、素晴らしい思い出をつくってください」と述べた。



▲楠崎産経新聞社企画業務室長

最後に挨拶に立った楠崎正人産経新聞社企画業務室長は「柔道の父といわれた嘉納治五郎先生は、時間を最も有効に利用した者に、最も立派な仕事ができる。時間がないからできないと時間のせいにするのではなく、時間は自分で作るものです。自分に厳しく、自分に律していけば何でもできると思います。嘉納先生の教えを胸に目標を持って、皆で力を合わせて優勝を目指して頑張ってください」と激励の言葉を贈られた。

時間の都合上、ご祝辞をいただけなかった来賓が紹介された後、著名人や関係団体などからの祝電が披露された。

前年度優勝の茨城県チームから文部科学大臣杯・大韓杯・モンゴル杯・産経新聞社杯が返還され、前年度準優勝の愛知県チームから準優勝杯の返還があった。



▲鮫島審判長

その後、鮫島元成審判長から試合上の注意があり、前年度優勝の茨城県チーム代表のカフレジオバニ選手による力強い選手宣誓が行われた。



▲選手宣誓するカフレジオバニ選手（茨城県）

● 試合経過

今回の全国大会に出場できた貴重な体験を、いつまでも忘れることなく柔道を続けて欲しいと願いながら取材にあたった。

● 決勝戦

別表参照。どちらが勝っても初優勝となる決勝戦は、本州最北端に位置する青森県と本州最

西端に位置する山口県の対戦となり、青森県が制し初優勝を飾った。

● 健康^{やわら}柔体操

決勝戦終了後表彰式の間、粕谷講師ほかの指導により大会役員・会員らも参加し健康やわら体操が行われた。

経 過



決勝戦



健康柔体操 やわら

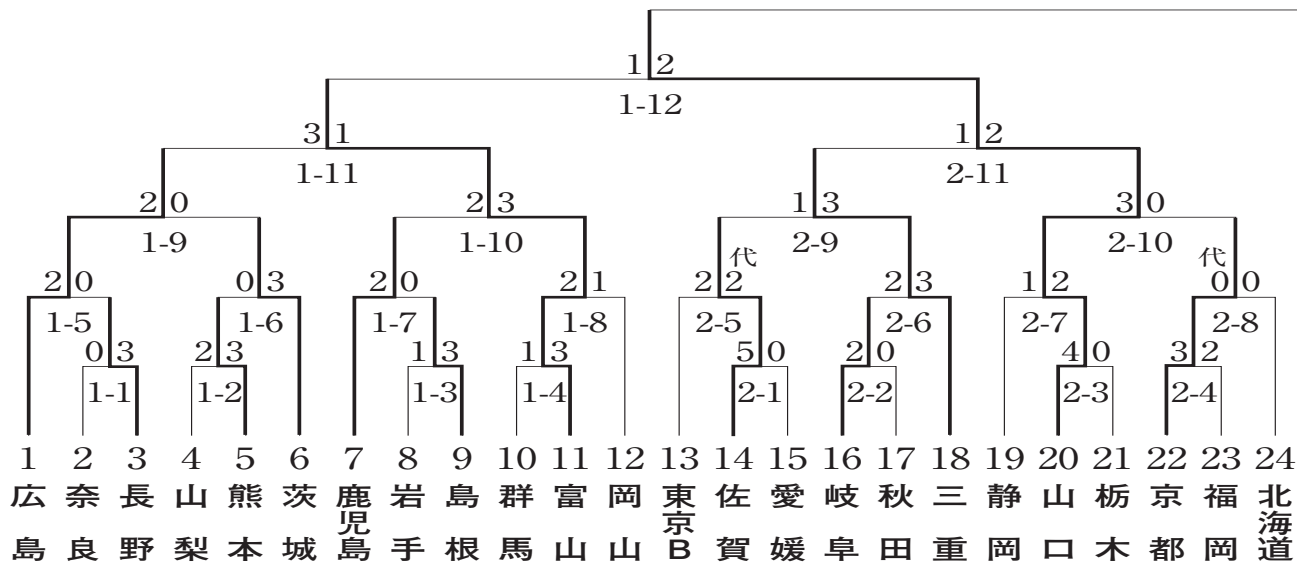


● 日整全国少年柔道大会の結果

優勝 青森県
 準優勝 山口県
 第3位 愛知県・広島県
 敢闘賞 千葉県・三重県・神奈川県・富山県
 フェアプレー賞
 長崎県・岐阜県・滋賀県・茨城県

優秀選手賞

伝法谷 綾亮 (青森県)
 對馬 佑 (青森県)
 小谷 優太 (山口県)
 中東 龍人 (愛知県)
 坂本 慶 (広島県)





▲優勝 青森県



▲準優勝 山口県



▲第3位 愛知県



▲第3位 広島県

●優勝チームインタビュー

青森県 成田 正人監督

今回は1回戦を突破するのが目標でしたが、1回戦に勝ったら波に乗って優勝することができました。ありがとうございました。

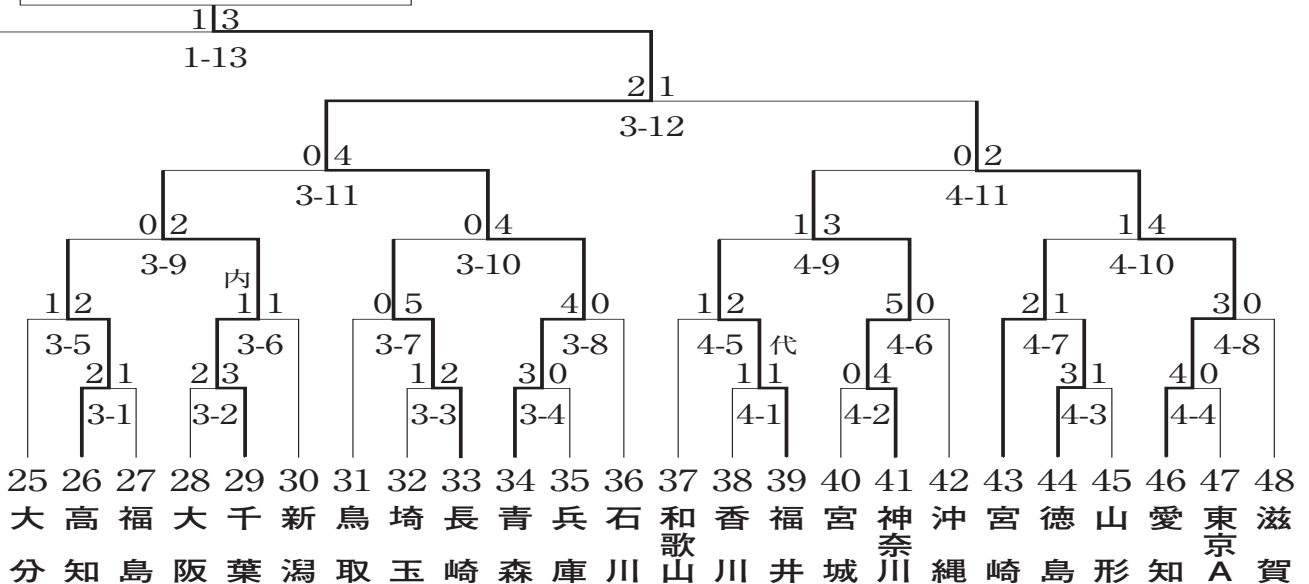
青森県 伝法谷 綾亮君 6年

青森県の初優勝でとてもうれしいです。一生懸命練習した結果だと思います。



▲優秀選手賞

優勝 青森県



東京都が連覇！

文部科学大臣杯争奪

第4回日整全国少年柔道形競技会

後援 文部科学省・東京都・(公財)講道館・(公財)全日本柔道連盟・(公財)東京都柔道連盟・産経新聞社

前年と同様、開会式終了後直ちに6階にある講道館学校道場に移動して、各地区(柔道ブロック)29チームが出場し、標記競技会が開催された。

競技種目として、投の形(手技・腰技・足技のみ)計9本、演技は各組1回とし、取・受を一体と見て評価し「形」の技、および「礼法」、「全体の流れ」を採点した。

今年から出場チームをA・Bブロックに分け、各ブロック予選上位3チーム(計6チーム)が決勝進出し、決勝戦が行われた。

上位4組(1位～4位)は、7階大道場で少年柔道大会決勝戦の前、4会場に分かれ演武を披露した。大人顔負けの名演武に会場から大きな拍手が鳴り響いた。



● 形競技結果

<優勝>東京A

(取) 桑田 彩菜 (東京都) 5年

(受) 藤原 七彩 (東京都) 5年

<準優勝>東北(青森A)

(取) 佐藤 風翔 (青森県) 6年

(受) 工藤 洸優 (青森県) 6年

<第3位>近畿(兵庫県)

(取) 前田 美優 (兵庫県) 6年

(受) 畑山 颯 (兵庫県) 5年

<第4位>東海西部(岐阜県)

(取) 岸 夏希 (岐阜県) 6年

(受) 日比野るん菜 (岐阜県) 4年

● 優勝インタビュー

東京A 向井 幹博監督

予選3位でしたが、決勝で逆転優勝できました。彼女たちは東京都で個人戦でも優勝する子で、乱取と形を両立している毎日が、この優勝に繋がったと思います。

東京A 藤原 七彩さん 5年

去年、同じチームの子が優勝したので、自分も優勝したいと思っていました。一生懸命練習して、優勝できてうれしいです。



南関東 36年ぶり2度目の優勝

厚生労働大臣旗争奪

第38回日整全国柔道大会

後援 文部科学省・東京都・(公財)講道館・(公財)全日本柔道連盟・(公財)東京都柔道連盟・産経新聞社

日整全国少年柔道大会に引き続き、午後から行われた標記大会は、全国15ブロック(近畿 A・B) 16チームが集結し盛大に開催された。昨年優勝の近畿 A と準優勝の東京は1回戦で姿を消す波乱があったが、南関東が36年ぶり2度目の優勝を飾った。



●開会式

開会式では国歌斉唱、日整会歌斉唱の後、木山時雨日整副会長の開会宣言が行われた。

挨拶に立った工藤鉄男日整会長は「日ごろから日本柔道整復師会の公益事業に対してご協力いただき、まずもって感謝申し上げます。また、選手の皆さんは日ごろ仕事をしながら、なおか



▲平沢勝栄衆議院議員



▲碓井貞成会長



▲櫻井康司会長

つ柔道の練習に励んで今日を向かえたご努力に対して敬意を表したいと思います。勝った負けたは別の問題として、戦った後には必ず握手をして別れていただきたい。くれぐれもケガに注意をしていただいて、最後まで戦い抜くことをお願いします」と述べた。

来賓として自由民主党の平沢勝栄衆議院議員、(公社)全国柔道整復学校協会の碓井貞成会長、(一社)日本柔道整復接骨医学会の櫻井康司会長よりご祝辞をいただいた。時間の都合上ご祝辞をいただかなかった来賓紹介の後、優勝旗・優勝杯の返還が行われた。

●特別功労者表彰

〈選手として通算20回出場〉

岩澤 勇治(静岡県)

〈選手として通算10回出場〉

牛木 幹人(新潟県) 小倉 弘行(石川県)
北浦 健司(石川県) 篠田 善晴(岐阜県)



●功労者表彰

〈選手・形演武・監督・審判として通算5回出場〉

高橋 一夫(北海道) 中澤 伸一(北海道)
徳留 義見(神奈川県) 豊島 公(東京都)
奥川 賢一(東京都) 城寶 忠信(石川県)
田中 寿人(石川県)



●出場証授与

〈出場選手を代表として〉

野村 時丈(愛知県)



●日整柔道形講習会功労賞

〈通算5回受講〉

間中 進(茨城県) 徳留 義見(神奈川県)
佐野 秀明(東京都)



● 会長特別表彰

第5回世界形選手権大会優勝

「柔の形」 大森 千草(長野県)

横山 悦子(福井県)

「固の形」 中山 智史(岐阜県)

林 聖治(岐阜県)



「講道館護身術」

(取) 阿部 達夫 六段(東京都)

(受) 難波 英樹 七段(東京都)



● 形の演武

「柔の形」

(取) 横山 悦子 七段(福井県)

(受) 大森 千草 六段(長野県)



「固の形」

(取) 中山 智史 四段(岐阜県)

(受) 林 聖治 四段(岐阜県)



「五の形」

(取) 山本 幸雄 六段 (福井県)

(受) 川口 稔 六段 (福井県)



● 試合経過

日ごろ忙しい仕事の合間に稽古し、今回の大会に臨まれた会員の先生方に感謝しながら試合の流れを見守り取材した。



● 決勝戦

別表参照。36年前の第2回大会から柔道ブロックの団体トーナメント方式が始まった。そのときの決勝戦が、今回の決勝戦と同じ顔合わせで、南関東と北信越西部だった。今回と同様、南関東が優勝に輝いている。

● 優勝インタビュー

南関東監督 車 耕作 七段

予想外の優勝で、胸が一杯で夢のようです。チームワークの勝利だと思います。

南関東大将 並木 俊二 六段

よいメンバーに恵まれ、若い選手が頑張った成果だと思います。ありがとうございました。

● 日整全国柔道大会の結果

優勝 南関東

準優勝 北信越西部

第3位 北海道 中関東

優秀選手賞 岡本 雅信 (南関東)

小川 武志 (南関東)

八本木通秋 (北信越西部)

佐藤 克広 (北海道)

岡本 栄治 (中関東)



▲優勝 南関東



▲準優勝 北信越西部



▲第3位 北海道

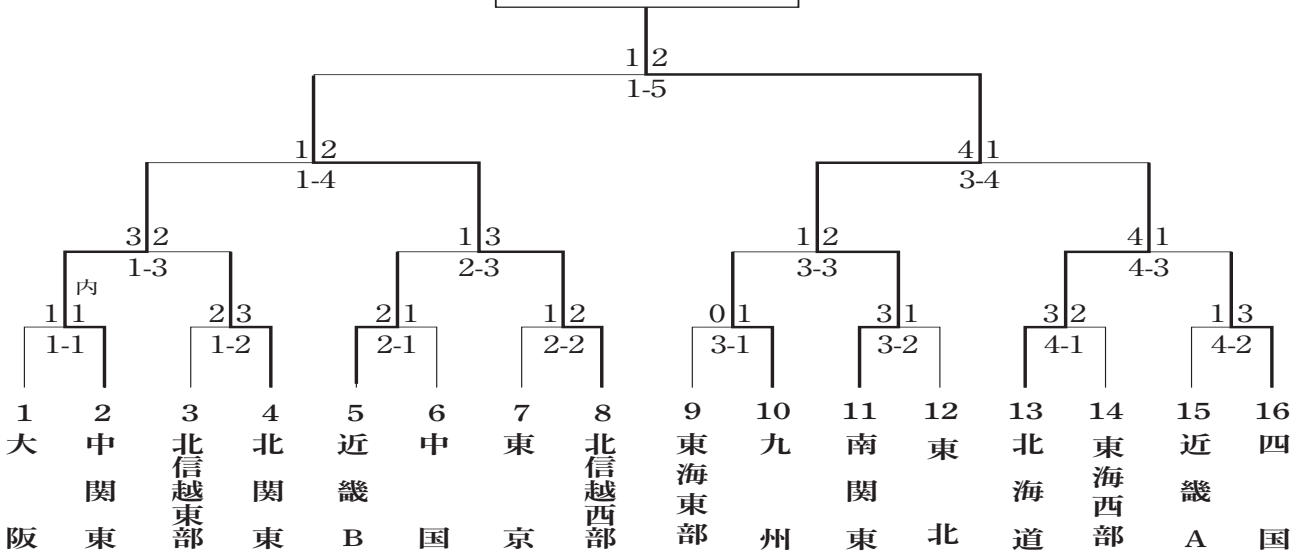


▲第3位 中関東



▲優秀選手賞

優勝 南関東



※日整のホームページに日整全国少年柔道大会、日整全国少年形競技会、日整全国柔道大会の決勝戦動画や形の演武、写真スライドを配信中です。ぜひご覧ください。
(注)日整全国柔道大会は会員ページで配信しています。

第38回日整全国柔道大会出場選手紹介



▲北海道ブロック



▲南関東ブロック



▲東北ブロック



▲東京ブロック



▲北関東ブロック



▲北信越東部ブロック



▲中関東ブロック



▲北信越西部ブロック

第38回日整全国柔道大会出場選手紹介



▲東海東部ブロック



▲大阪ブロック



▲東海西部ブロック



▲中国ブロック



▲近畿ブロック A



▲四国ブロック



▲近畿ブロック B



▲九州ブロック

平成26年度 学術・生涯学習講習会 報告

司会者・学術部員 岩本 芳照

第22回目となった日整生涯学習講習会が、平成26年10月12日(日)、例年どおり日整会館2階大会議場において開催された。一般公開講座および会員向け説明・報告会となっており、都民や一般会員を含めて159名の参加者に大変好評の講習会であった。

【特別講演】

演題：「～日常に活かす武士の心得～」

講師：小笠原礼法宗家 小笠原敬承斎先生

内容：1. 小笠原流礼法について

沿革は、平安時代の公家文化に始まり、室町時代の武家社会における朝起きて夜寝るまでの「礼儀」「作法」から小笠原礼法が生まれてきた。「礼儀」は心であり、その心の上に形として「作法」がある。

2. 好印象を持たれるために

第一印象はまず目から入る要素が多く、70～80%を占めるとも考えられている。第一印象は身だしなみ、基本動作、言葉遣いが重要である。武士に学ぶ身だしなみの心得から、ワイシャツの襟もとはきつ過ぎずゆる過ぎずが良い。対面するときは相手の襟元から顔あたりを見るからである。武士は派手な色物より白い着物が格好良いと考え、少し控えめな姿が良いとされていた。

基本動作はまず姿勢からであり、一般的にいわれる「背筋をぴんと伸ばす」よりも、むしろ力まない自然な姿が好ましい。少しでも無駄な力が入ることにより、相手に堅苦しい雰囲気を与えかねないと心得ることが大切である。女性が椅子に腰かけるときは、両膝をつけ、両踵とつま先を合わせると良い。

おじぎには会釈(15度)、浅めの敬礼(30度)、深めの敬礼(45度)と3種ある。いずれも呼吸が重要であり、礼三息を身に付けると良い。まず上体を傾けるときは息を吸い、止まったところで息を吐き、更に、吸いながら上体を上げる。また、おじぎの後には少し間を取ってから次の動作に移る「残心」を心掛けること。

挨拶をするときには、言葉とおじぎを同時ではなく、別に分けて行う方が良い。

3. 訪問と慶弔の心得

訪問時、コート、マフラー、手袋などは入室前に脱ぐ。一般の家庭を訪問する場合は数分遅れるくらいが望ましい。なぜなら、先方はもてなしの準備を約束の時間までなさっている可能性があるからである。



和室においては向かって右側が上座、洋室では左側が上座とすることが基本。

金子包みの水引には、結婚・葬儀など、人生において一度限りと考えられるものには「結び切り」、何度あってもよい祝いなどには「蝶結び」を用いる。

最後に、参加者全員が起立して、正しい息遣いとおじぎの実技指導があって閉会となった。



【学術講習会】 寄附講座報告

「富山大学大学院柔道整復学講座報告会」

演題：当研究室における5年間の歩み

～柔道整復術の保険診療適用拡大を目指して～

講師：富山大学大学院教授 西条寿夫先生

内容：まず同研究スタッフである酒井重数学術部員より、富山大学大学院柔道整復学講座の研究報告および提言内容等についての概要説明があった。



西条先生からは、その内容について更に詳細な報告があり、柔道整復術の保険取り扱い適用範囲の拡大に役立つ具体的な説明があった。

昨今、柔整療養費支給対象疾患として、病態の急性・亜急性の問題が注目されている。一部の保険者では「単なる腰痛や肩こり・五十肩・スポーツ筋肉痛等」は療養費適用外とされており、その根拠は、これらの病態には急性・亜急性外傷は存在していないとの見解である。しかし、病態生理学的に、単なる腰痛や肩こり・五十肩・スポーツ筋肉痛等には急性・亜急性の筋病変の有無について精査する必要がある。

一昔前の光学顕微鏡の時代には、上記病態の筋病変の確認は、技術的に困難であり、証明は不可能であったが、医科学の発展により光学顕微鏡とは比較になら

ない精度の顕微鏡、電子顕微鏡が開発された。

電子顕微鏡を使った研究によると、単なる腰痛や肩こり・五十肩・スポーツ筋肉痛等に分類されている病態においても筋損傷が筋節レベルで発生しており、それによりミトコンドリアの代謝障害が確認され、病態生理学的には急性・亜急性の損傷が生じている状態といえる。

この急性・亜急性問題をより複雑な問題へと移管している背景が、急性・亜急性の定義は柔整と医科では異なっている点である。医科での、特にむち打ち損傷の場合の急性は1か月以内、亜急性は1～3ヶ月、慢性は3ヶ月以上と期間で捉えているが、柔道整復の場合は、外力の強さや加わり方に関連して捉えており、大きな齟齬が生じている。

更に、これらの齟齬に加え、病態生理に基づいた疾病の侵害受容性疼痛(急性)、混合性疼痛(亜急性)、神経障害性疼痛(慢性)との分類も生み出されており、更に混沌としている状況である。

柔道整復は、療養費のルールが決まってから70年以上と聞いているが、臨床に即したかつ、病態生理学に沿った「療養費支給基準」を見直す時期に来ていると思うとの見解を示された。

また、現状では、長期にわたり運動器系の疼痛を訴



えているいわゆる運動器慢性疾病患者が、高齢化社会の変遷に伴って急激に増加しており、より良い治療を求め多くの病院、施術院に転医する患者が問題となっている。

患者の満足度を高めるためにも柔道整復をはじめ補完・代替医療の発展が望まれる。

従来まで急性腰痛症に対するマッサージ等の補完・代替医療の有効性は公表されていなかった。これは、マッサージ等の施術の治療効果に関わらず有効な統計調査が行われなかったためである。

当柔整講座では柔道整復の手技療法の治療効果が統計的に有意であるとの根拠を示すために、ランダム化比較試験(RCT)の実施し、統計的に柔整手技は有効であることを証明した。

柔整施術の治療効果を証明するためには、動物実験による基礎研究によりサイエンスを解明し、更に質の高い臨床研究の実施によりエビデンスを積み重ねる作業が必要である。それらのサイエンス、エビデンスの蓄積が、臨床における病態生理学に則った柔整対象疾患の再編に繋がる作業である。

柔整業界の課題としては、1. 柔整師増加による療養費の増大問題に対する適切な対応。2. 不正請求と言われたいための業務範囲の再編。3. 医科学の進歩に伴った新規医療技術の創設。4. 柔道整復学の構築を更に目指すなどである。

【全国ボランティア活動報告】

担当：四国 愛媛県

演題：「(公社)愛媛県接骨師会の歩み」

演者：愛媛県接骨師会 沖 秀和会員

内容：1. 救護員派遣活動、2. トレーナー派遣活動、3. (公社)愛媛県接骨師会少年柔道大会、4. 生涯教育事業、の詳細



な活動報告があり、平成29年度国体の愛媛開催に全会員で関わっていくことを当面の目標とし、ボランティア活動を通じて社団をアピールして行きたいと結んだ。

【会員発表】

演題：「肩関節拘縮に対するROM改善の一考察」

演者：公益社団法人北海道柔道整復師会 佐々木忠行会員

内容：ベッド上においてモデルを使って、可動域の評価、物理療法、肩関節周囲筋へのアプローチ、可動域訓練、筋力訓練の実技を披露した。



患者の主観的評価と施術に対する満足度が向上したと結んだ。



【学術・生涯学習報告】都道府県会議

平成25年度生涯学習・ボランティア活動単位報告 岩本芳照学術部員

内容：平成25年度生涯学習単位取得状況、生涯学習認定会員1,532名、ボランティア活動認定会員1,698名、生涯学習高単位

取得者424名、ボランティア活動高単位表彰者1,555名、生涯学習認定証該当者451名、ボランティア活動優良会員表彰者220名。



なお、都道府県別の会員数、氏名は日
整HP「学術部」生涯学習に掲載中である。

【職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証】

演題：柔道整復師養成分野に係る第三者評価シ
ステム構築の取組

講師：特定非営利活動法人私立専門学校等評価
研究機構理事 関口正雄先生

内容：私立専門学校
等評価研究機
構の沿革に始
まり、日本の
教育制度にみ
る専門学校制
度の説明があ
った。国内に
2,812校の専
門学校があり、約58万人が学んでいるが、
50%近くが医療関連分野である。近年は
短大進学が減り、専門学校進学が増えて
いる。



現在は、より実践的な職業教育の質の
確保に組織的に取り組む「職業実践専門
課程」の文部科学省による認定制度があ
り、奨励・推進している。柔道整復師養
成学科は20校、37学科となっている。

【モンゴル国立医療科学大学講演】

演題：「モンゴル国の医療制度について」

演者：モンゴル国立医療科学大学
学長 ガンチン・バタバートル先生

内容：モンゴルには
150万km²の
地に180万人
が住んでいる。
医療の歴史は
1990年に社会
主義から市場
主義経済に移
行し、今の医
療制度が始まった。1～3次の3段階医
療制度になっており、全費用の全額が受
給できる1次、10%の患者負担が2次、
15%患者負担が3次となっている。



年金は男子55歳、女子60歳から受給で
き、健康保険の加入者は1994年で93%
であるが、基金のお金が病院に適切に配分

されていない。人口は都市が増え地方は
減っており、平均寿命68.7歳は世界で
133番目である。今後、医療制度が改善
されれば日本のようになれると思われる。

疾病は、心臓病、腎臓病、外傷の順に
多く、死亡原因では、心臓、がん、事故
等による外傷となっており、特に男性に
外傷が多い。人口増加率は2%と世界的
にも高い。

医療制度の改善と医療従事者の教育が
大事である。2012年の経済成長率は18.1
%で高いが、鉱山分野が高く、健全とは
いえない。問題点は、1. 大気汚染がひ
どく、都市の冬季の朝は特に悪い。ウラ
ンバートルの大気汚染は世界第3位であ
る。

2. 飲料水の安全性の確保。3. 鉱山
開発による土壤汚染等の問題である。現
在、これらの環境監視が重要となっている。

《感想》約5時間にわたる講習会は、一般参
加者にも会員にも、また執行部にとっても内容
のある充実したスケジュールであったように思
われる。この講習会が社会および柔道整復師に
向けての公益・共益事業の実施に有意義に反映
することを望みたい。

《タイムスケジュール》

- 12：00 公開講座開会式
工藤鉄男会長 挨拶
- 12：10 特別講演
- 13：20 学術講習会
- 14：50 全国ボランティア活動報告
- 15：10 会員発表
- 15：30 閉会の辞 萩原正和副会長
- 15：35 学術・生涯学習報告
- 15：50 職業実践専門課程等を通じた専修学校
の質保証
- 16：10 モンゴル国立医療科学大学講演
- 16：40 終了

埼玉県が24年ぶり 3回目の優勝

利他の精神でチャリティーゴルフ



第41回日整親善ゴルフ栃木大会が、平成26年9月15日(月・祝)、公益社団法人栃木県柔道整復師会の主管により日光連山的那須高原を背景に、木々の緑が織りなす美しさに囲まれた笠松山のサンヒルズカントリークラブにおいて盛大に開催された。



昨年の大会は台風の影響により中止となったが、今年はその心配を一掃する爽やかな秋晴れとなった。参加者は絶好のコンディションの下、挑戦心と快感を与える自然の起伏を巧みに生か

したコースに挑んだ。全国から167名のゴルフ愛好家が一堂に会して親睦を深めた大会は、埼玉県が24年ぶり3回目の優勝を飾った。





■チャリティー募金

今年も実施要綱に記されているとおり「ショートホールでワンオンしない場合は500円以上のチャリティー募金をする」という規定を設けてスタートした。

当日、表彰式会場において自己申告で、チャリティーBOXに募金をした。総額116,000円集まり、日本赤十字社栃木支部に寄託した。



援よろしく願いいたします」と述べた。

続いて末綱隆日整コンプライアンスプロジェクト委員の挨拶の後、加藤興平日整顧問弁護士の乾杯で、表彰パーティーが開会された。集計が出揃うまで、各テーブルではゴルフ談議に花が咲き、和気あいあいの会場となった。



結果発表の前に、前回の団体優勝チーム若林共榮栃木県会長から、岡本和久大会会長に優勝杯が返還された。

■表彰式



表彰式は宇都宮市街を見下ろす素晴らしい景観が、大パノラマに広がるサンヒルズカントリークラブのラウンジ、2階メインダイニングにおいて行われた。岡本和久日整親善ゴルフ大会会長挨拶の後、挨拶に立った工藤鉄男日整会長は「親睦のゴルフ大会、大変お疲れ様でした。今、業界はちょっと辛い思いをしているところがありますが、日本柔道整復師会一致団結して、暗いイメージを払拭するため、執行部が頑張っていきますので応



援よろしく願いいたします」と述べた。

■成績結果

団体戦は、各都道府県上位4名のトータルネット成績で競われ、前回準優勝の埼玉県が24年ぶり3回目の優勝に輝いた。

個人戦は、ネットの部で、茨城県の谷中照男会員がネット69.2の成績で優勝し、キャロウェイのアイアンセット6本組が贈られた。

その他各部門の成績は別表のとおりとなった。司会者より順次各賞が発表されると会場は大い





に盛り上がり、一日の疲れが吹っ飛ぶ満足感あふれる笑顔で賞品を手にしていった。

来年は9月12日、13日に宮城県の「松島チサンカントリー倶楽部」で行われる。



【団体戦】

順位	都道府県	ネット
優勝	埼玉県	284.0
準優勝	富山県	286.8
第3位	群馬県	291.0

【個人戦】 ネットの部 年長年少区別せず、招待者・業者も含む

順位	氏名	都道府県	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	谷中 照男	茨城県	43	43	86	16.8	69.2
準優勝	野口 勇	埼玉県	39	45	84	14.4	69.6
第3位	小林 慶三	埼玉県	46	44	90	20.4	69.6

【グロスの部】 シニア 70歳以上

順位	氏名	都道府県	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	野口 勇	埼玉県	39	45	84	0.0	84.0
準優勝	岡本 和久	千葉県	43	42	85	0.0	85.0
第3位	秋田 孝夫	栃木県	44	41	85	0.0	85.0

【グロスの部】 年長 55歳以上

順位	氏名	都道府県	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	竹林 浩平	富山県	39	36	75	0.0	75.0
準優勝	五明 顕二	埼玉県	38	39	77	0.0	77.0
第3位	尾藤 英邦	岐阜県	36	42	78	0.0	78.0

【グロスの部】 年少 55歳以下

順位	氏名	都道府県	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	田口 敦	栃木県	37	35	72	0.0	72.0
準優勝	鈴木 直樹	千葉県	38	40	78	0.0	78.0
第3位	斉藤 忠正	埼玉県	38	40	78	0.0	78.0

【優勝インタビュー】

<団体優勝>

埼玉県大河原晃副会長が代表して

私は何も貢献していませんが、参加会員みんな頑張っていたいただき栄えある優勝が久しぶりにできました。本当にありがとうございます。

<個人優勝>

茨城県 谷中輝男会員

今日は素晴らしいメンバーに恵まれて、みんなでシャンクをしながらも最終的にはこんな素晴らしい賞をいただき、ありがとうございます。

社会貢献一筋に



恒例の夕食会は、前日午後6時からホテル東日本宇都宮で開催された。

主管県の江原義明学術部長による司会進行で、片岡祥二副会長の開宴の辞で始まり、岡本日整親善ゴルフ大会会長が2年連続で受け入れた主管県に対してねぎらいの言葉を掛けた後「今年は素晴らしい天候に恵まれました。良かったなと感謝をする感性が柔道整復師に必要だと思います。皆様のプレーの頑張りに期待します」と挨拶を行った。

続いて挨拶に立った工藤日整会長は、日ごろの協力に対する感謝と日整が実行すべきことについて述べた後「明日はゴルフを通してストレスを解消し交流を深め楽しんでください。日整は精力善用自他共栄、利他の精神をもって、互いに助け合い、苦しみ、悲しみ、喜びを共にし、譲り合いながら社会のために、そして恵まれない人のため、今も苦しんでいる被災者のために社会に貢献するのだと、今日この会を通してお誓いをしたいと思いますがいかがでしょうか」と参加者に問いかけると会場は割れんばかりの賛同の拍手で鳴り響いた。



次に歓迎の挨拶に立った若林主管県会長は「本日は多数のご参加をいただきありがとうございます。賑やかな大会になるものと楽しみにしています。良い

天気となるようなので安心してプレーしてください」と述べた。その後、来賓祝辞として栃木県議会議員の小林幹夫副議長と栃木県柔道整復審査委員会審査委員の福嶋稔福島整形外科院長のお言葉をいただいた。

大藤忠昭(公社)群馬県接骨師会会長の乾杯で開宴し、しばし歓談の時間が流れた。

司会者より、各都道府県チームが詳細に紹介され、代表者が壇上で現在のチーム状態・明日への意気込みを力強く宣言した。

親睦を深めた食事は、主管県の塚原剛広報部長の中締めが行われ、倉井洋治副会長の閉宴の辞で幕を下ろした。



日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト

平成26年度 第2回指導者候補日本研修開講式

平成26年10月21日（火）に独立行政法人国際協力機構（JICA）東京国際センターにおいて、「JICA草の根技術協力事業（パートナー型）日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト平成26年度第2回指導者候補日本研修開講式」が開催された（写真1）。

今回の研修員は、バトムンク・アルタンエルデネ研修員（4回目）、オユンバートル・ダリンチュルン研修員（4回目）、ムンフバートル・ボロルチメグ研修員（3回目）の3名である。

はじめに工藤会長からの挨拶があり、続いて、外務省アジア大洋州局中国・モンゴル第1課上席専門官藁谷栄様より、研修を継続してじっくり技術を勉強して欲しいという研修員への激励のお言葉を頂いた。JICA東京国際センター所

長佐々木十一郎様は、前回の閉講式の様子について触れられ、プロジェクトに対する日整へのお礼、研修員への激励のお言葉を述べられた。また、（株）カイエンディレクターの小山正秀様からは、NHKワールド「side by side—The Judo Therapy Cure Mongolia—」の放送のご報告とお礼の言葉を頂いた。

その後、オユンバートル・ダリンチュルン研修員からの代表挨拶及び、工藤会長、JICA東京国際センター佐々木所長へ記念品贈呈と、各研修員からの症例経験を多く取り上げた、モンゴルでの活動報告が行われた（写真2）。

前半の研修は、10月23日から約4週間、愛知県接骨院で実施予定となっている。



▲参加者一同（写真1）



▲モンゴルでの活動報告（写真2）

数多の業績残す

故吉田充孝前会長のお別れの会



公益社団法人 日本柔道整復師会 理事・保険部長
公益社団法人 神奈川県柔道整復師会会長

平成26年7月7日に65歳の若さで急逝された本会『故吉田充孝前会長のお別れの会』が、平成26年9月23日（火・祭）、13時から新横浜国際ホテルにおいて、しめやかに執り行われました。

祭壇には平成25年2月17日パシフィコ横浜で盛大に開催した「創立90年、法人設立65周年」記念式典の際に撮影されたものを遺影として飾りました。

開会に先立ち工藤鉄男日整会長より「帰一賞」が故吉田会長に授与されました。

小縮総務部長の司会から齋藤武久副実行委員長の開式の辞に続き、参会者全員で黙祷をいたし故人に哀悼の誠を捧げました。

続いて、神奈川県柔道整復師連盟顧問、財政再生担当大臣甘利明衆議院議員（代読）からは「このたびの急逝、偉大な支えを失い私共は痛恨の極みです。この上は会長のご遺徳を偲び、かつ継承し、会運営をより一層向上させるべく、更なる発展を期して参ることをお誓い申し上げて『お別れの言葉』とさせていただきます」とのお言葉をいただきました。

工藤日整会長はまず吉田前会長の悲報を「痛哭の至り」と表し「新公益法人制度へ

の改革に際し、利他の精神で業界を立て直すと目標に向かって最後の最後まで諦めなかったそのご努力に対し改めて敬意を表します」と述べられ、「先生の功績は全ての柔道整復師の胸に生きるでしょう。先生のご遺志を継ぎ柔道整復師の更なる発展を誓います」と締めくくられました。

岡本和久関東ブロック会会長は「我が業界の将来をも託す理事、保険部長として、日夜を問わずお働きいただき、そのご苦労ご功績に心よりお礼を申し上げます。人一倍責任感の強かった先生、『志』半ばにしてお亡くなりになった先生のお気持ちを察するとき哀惜の言葉、今も見つかりません」と突然の訃報に動転した胸中を語ってくださいました。

本会の齋川相談役からは「私が会長るとき君は理事に就任し、時には業界の将来について語り、また、時には業界を襲う荒波にも共に立ち向かった同志でありました」と思い出を語られ、締め言葉に「ついに行く 道とはかねて聞きしかど 昨日今日とは思はざりしを」と古今和歌集から引用し、故人との別れを惜しんだ。最後は同じ支部であった白鳥輝夫（筆者）より「友人

としてどうしてもあなたの早すぎる旅立ち
は諦めようにも諦めきれない未練が私の心
を覆っています。あなたにお別れを告げま
す。お疲れ様でした。ゆっくりお休みくだ
さい」

続いて各界より多数寄せられた弔電が奉
読されました。

次いで、参会者全員で遺影に対し献花を
行なった後に、木山時雨日整副会長に献杯
のご発声を頂戴し全員で杯を傾けしほし思
い出話で故人を偲びました。

柔道整復師歴

昭和51年 4月 1日 神奈川県相模原市相原
(現緑区相原) に吉田
整骨院を開設

平成 5年 4月 社団法人神奈川県
柔道整復師会 相模支
部長

平成 9年 5月 社団法人神奈川県
柔道整復師会 理事

平成15年 4月 社団法人神奈川県
柔道整復師会 副会長

平成19年 4月 社団法人神奈川県
柔道整復師会 会長

平成15年 6月 社団法人
日本柔道整復師会 代
議員

平成23年 6月 公益社団法人
日本柔道整復師会 理
事

平成 9年 5月 日本柔道整復師会
関東ブロック会 理事

平成17年 5月 日本柔道整復師会
関東ブロック会 監事

平成19年 5月 日本柔道整復師会
関東ブロック会 常務
理事

平成23年 5月 日本柔道整復師会
関東ブロック会 副会
長

公職歴

平成11年 4月 神奈川県労働局労災保
険
柔道整復師施術料審査会
委員

平成11年 4月 神奈川社会保険柔道整
復師療養費審査委員会
委員

平成11年 4月 神奈川県国民健康保険
柔道整復師施術療養費
審査委員会委員

受 賞

平成 3年11月 相模原市公衆衛生協会
長表彰

平成 6年11月 相模原市保健所長表彰

平成10年11月 神奈川県保健衛生表彰

平成15年 1月 健康保険組合連合会神
奈川連合会会長表彰

平成25年 2月 神奈川労働局長表彰

平成25年 3月 厚生労働大臣表彰

平成26年 9月 公益社団法人日本柔道
整復師会 帰一賞

賑やかなことが大好きであった故人にふ
さわしい席となりました。閉式として和田
秀樹実行委員長がご参会いただいた皆様方
にお礼の挨拶を行い、牧野吉一副実行委員
長の閉会の辞で散会となりました。

(広報員 白鳥輝夫)



設立85周年事業及び 第3回国際看護学会

平成26年10月9日と10日の両日にわたり、上記の事業および学会が、モンゴル国首都ウランバートルにあるモンゴル国政府庁舎およびブルースカイホテルで開催されました。日整からは会長代理として萩原正和国際部担当副会長の他、萩原 隆国際部長、富永敬二国際部担当理事、本間琢英国際部員の4名が参加いたしました。

初日の開会式は、一般では入ることの難しい政府庁舎内の大講堂にて、厳粛に行われました。来賓として、アルタンホヤグ首相やオトワル保健大臣をはじめ多数の政府関係者および前保健大臣のモンゴル国立医療科学大学のランバー理事長、スンベルツルグ副学長、そして看護大学の歴代学長が出席されていました。また、日本をはじめとする海外諸国からの参加も多く見られ、国際色の強い大会となりました。

開会式では、萩原正和副会長が、檀上にて、工藤会長のメッセージを代読しました。司会者による日整の紹介では、長年にわたる日整と大学との協力関係と、さらには、看護大学の中の「柔道整復科の設置」を目指していると、多くの来賓に対し説明していました。

開会式終了後は同会場にて、シンポジウムが開催され、初日の最後は、オトンガァ看護大学学長の「モンゴルにおける看護師の現状と将来展望」と題した基調講演が行われました。質疑応答は非常に活発で、ウランバートルと地方における医療環境格差の解消についての提言や、現在、看護師の仕事の90%が注射や点滴となっている現状打開のための、看護師の早急な増員

の必要性など、現場で活躍している人からの声が数多くありました。

夕食会は、会場をブルースカイホテルに移し行われました。会場に入りきれないほど多くの参加者があり、また、ウェルカムドリンクが「馬乳酒」であったことには少し驚きました。

萩原副会長より、オトンガァ学長に記念品の「赤富士」が贈呈され、「赤富士は縁起がいい」と副会長が説明した時には、会場から大きな拍手が沸き上がりました。

二日目は、ブルースカイホテルで、専門分野に分かれ、オーラルでの研究発表やポスター発表が行われました。どの会場とも熱気に溢れており、休憩時間になっても終わらないほど白熱した質疑がどの会場でも行われていました。この二日間を通して、モンゴルの大学関係者や看護師をはじめとする医療従事者の方々の、海外の知識、手法を積極的に導入し、自国の医療環境を一日でも早く改善しようという意気込みを強く感じました。

日整国際部の一員としては、現在、日整がJICAとともにやっている柔道整復術のモンゴルへの普及事業が、最終的に大きな実を結ぶためには、「柔道整復学科の設立」や「研修施設の設置」更には「柔道整復術を中心とした国際学会の開催」は必要な要件となりますが、今回の周年事業および学会に参加させていただき、モンゴルの人々の熱意を目の当たりにし、我われのプロジェクトも今が頑張りどころであることを確信いたしました。

NHK 国際放送

NHKワールドで放送されました!!

JICA 日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクトにおけるモンゴル人柔道整復術指導者候補者と柔道整復術を指導する講師の活動です。

番組タイトル

Side by Side #6

「THE JUDO THERAPY CURE ～MONGOLIA～」

柔道整復術がモンゴルを救う

主な内容

平成26年10月19日(日)午前0:10から、JICA 日本伝統治療(柔道整復術)指導者育成・普及プロジェクトにおけるモンゴル人柔道整復術指導者候補者と柔道整復術を指導する講師の活動が NHK 国際放送 NHK ワールドで放送された。

Side by Side # 6 「THE JUDO THERAPY CURE ～ MONGOLIA ～ (日本語訳: 柔道整復術がモンゴルを救う)」という番組のタイトルで、NHK ワールド TV の公式 HP 上で放送と同時にストリーミング形式で配信され、国内でも視聴することができた。

日本柔道整復師会(以下、日整)は2008年より JICA の支援を受け、モンゴルにおいて「柔道整復術普及プロジェクト」を開始し、毎年2回定期的に専門家チームを現地に派遣、技術の伝達と指導者育成に奔走してきた。番組では、今年の8月末から9月中旬にかけて行われた日整のモンゴルでの普及活動の取材を通して、夢の実現に向けて熱心に学ぶモンゴルの若者たち、習熟した技術を吸収しようとする地方の医療従事者、そしてそれを支える日本の柔道整復師たちの姿に迫る内容が報じられた。

チンギスハーンの国

国際部 本間 琢英

チンギスハーン広場周辺

ウランバートル市の中心にあり、70年もの間「スフバートル広場」の名で、市民のみならず、外国人にも人気だった広場の名称が、今年の7月に「チンギスハーン広場」に変わった。

スフバートルとは、チョイバルサンと並ぶ、20世紀前半の社会主義時代にモンゴルの独立を果たした英雄である。かたやチンギスハーンは言わずと知れた、人類史上最大規模のモンゴル帝国を築き上げた初代皇帝である。これは13世紀ころのことだ。1990年資本主義へと移行した後も、長く社会主義時代の英雄の名をこの国を代表する広場の名にしていたが、急に「チンギスハーン広場」に変えたのは何か理由があるのだろう。モンゴルでは「チンギスハーン」は溢れている。紙幣、空港、ホテル、会社、ウオッカ等々さまざまなものにチンギスハーンの名が使われている。そして、ついには国を代表する広場にまでその名前が付いてしまった。

迷路のようなウランバートルの街を歩くと、私はこのチンギスハーン広場をランドマークにしている。更に最近では、どこからでも目に付くブルスカイビルが広場の南側にできた。市内で迷ったら、とにかくこのブル

スカイビルを目指して歩けば、チンギスハーン広場に出る。広場周辺には、私たちがよく行く、日本大使館、JICAモンゴル事務所、保健省そしてカウンターパートであるモンゴル国立医療科学大学がある。また、裏手には公開講座を毎年行っているJICA日本人材開発センターやモンゴル国立大学がある。

モンゴル国立大学のロシア風校舎は非常に綺麗だ。また、この周囲は、歴史を感じる古い建物が多く雰囲気がいい。絶好のウォーキングコースだ。特に私のお勧めは、広場の西側を政府庁舎から南に向かって歩く歩道だ。数年前、小雪が舞い、耳がちぎれそうな寒さの夕刻、通訳と共にコートの襟を立て震えながら、家路を急ぐ人々をかき分けこの歩道を急いでいたときのことが今でも脳裏から離れない。きっと、どこかで見た、白黒の古いロシア映画の一場面によく似ていたからだ。

今回、プーチンロシア大統領の訪問とぶつかった。市内の道路は規制が掛かり車では移動できない。久しぶりに徒歩でホテルから各訪問先を廻った。クラクションの音も聞こえず、透き通った青空と澄んだ空気が気持ちよかった。この広場周辺は徒歩での散策が絶対お勧めだ。



ガム

大学でも地方でも、講義中はガムを噛むことを禁じている。それまで噛んでいた人も注意されると素直に口から出す。そして、講義が終わるとまたガムを噛みだす。モンゴル人はガム好きが多いようだ。

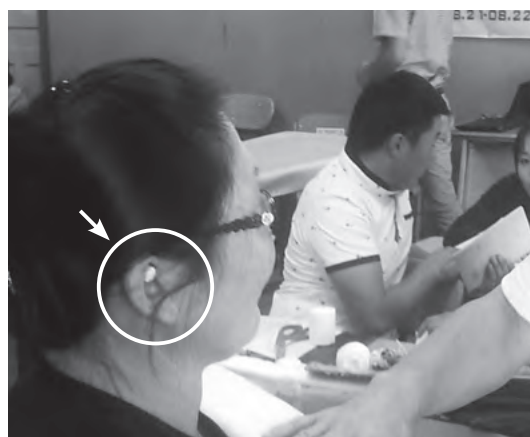
ただ困ったことに、噛んだガムを机や椅子に付けたままにしてある。特に地方での講義で使う机をよく見るとガムの付いてない机はほとんどない。なぜモンゴルの人々はガムを机や椅子に付けたままにしておくのだろうと不思議に思っていた。

ある地方でバク医師に対しての講義中、受講者の耳に何か付いているのを見つけた。一人だけかと思ったらほかにも何人かいる。耳の外側ではなく、内側に何かが付いている。最初は補聴器かなと思ったが、よく見るとその位置が一人ひとり微妙に違っている。

不思議に思い近くに寄ってみると、それはなんと噛んだ後のガムだった。モンゴルではガムは貴重らしい。だから一度噛んだガムは捨てず、次また噛むときのために耳に付けておくのだという。だから机のあちこちに付いているガムもきっと後からまた噛もうと思いつけておいて忘れてしまったものなのだろう。

この話を記事にしても良いかと通訳に話したら「恥ずかしいからやめてほしい」と言われた。でも私は、恥ずかしいことはないと言った。物を大事にするモンゴル人らしいし、自分の耳に付けておいたら不潔ではないし、忘れることもない。また耳なら服などに付いてしまうこともない。非常にいい発想だと言った。

もし海外で耳にガムを付けている人がいたらモンゴルの人かもしれません。「サンバイノー（こんにちは）」と声を掛けてみてください。



周年記念式典の開催日

都道府県	式典名称	開催日・会場
(公社) 愛知県柔道整復師会	愛知県社団法人設立50周年記念式典	平成26年12月7日(日) ウエスティンナゴヤキャッスル

平成26年度 日整主催学術大会一覧

ブロック	担当都道府県	学会名称	講師・演題	開催予定日
関東	(公社) 神奈川県柔道整復師会	公益社団法人日本柔道整復師会 第37回関東学術大会 神奈川大会	聖マリアンナ医科大学横浜市西部 病院副院長・整形外科部長 ◎ 笹 益雄先生 演題「手外科領域の外傷と疾患」	平成27年 3月8日(日)

◎印の学術大会はどなたでも無料でご参加いただけます。

会務執行状況

(8月～9月)

日 整 関 係

平成26年 8 月

日付	曜日	会 議 等	出 席 者
2～3	土～日	全国柔道整復学校協会教員研修会	工
5	火	国際部部会	
		部長連絡会議	
		モンゴル指導者日本研修閉講式	
8	金	広報部会	
9	土	保険部会 (介護対策課)	
10	日	鳥取県社団設立35周年記念式典	工
11	月	2014年世界柔道選手権大会壮行式	工、豊
18	月	JIMTEF 災害医療研修コース検討会議	森
19	火	日本医師会訪問	豊
20	水	全国柔道整復学校協会柔道大会	工
21	木	保険部会 (医療)	
25	月	2020東京オリンピック・パラリンピック 対策準備会議	工、豊、原、春
26	火	米田柔整専門学校 (業界説明会)	森川、藤
		総務部会	
27	水	経理部会	
29	金	厚生労働省医療課打合せ	萩、三、伊、
30～31	土～日	第49回四国学術大会香川大会	工、木、萩、松

平成26年 9 月

日付	曜日	会 議 等	出 席 者
3	水	部長連絡会議	
		新宿鍼灸柔整専門学校 (業界説明会)	春、辰
5	金	医道審議会あはき柔整部会	工
6	土	長野県「会員研修会」	工
7	日	砂子隆一先生「旭日双光章」受章祝賀会	工、木、萩、豊
8	月	日本医学柔整鍼灸専門学校 (業界説明会)	森、新
9	火	日本医学柔整鍼灸専門学校 (業界説明会)	春、新
11	木	日本柔道整復専門学校 (業界説明会)	橋、深
		福岡医療専門学校 (業界説明会)	松、塩
12	金	京都仏眼医療専門学校 (業界説明会)	大、中
14	日	第33回東京学術大会	工、松
		瀬戸島孝夫先生「旭日双光章」受章祝賀会	木
14～15	日～月	日整親善ゴルフ前夜祭・大会	工
17	水	日本柔道整復専門学校 (業界説明会)	春、辰
18	木	総務部会	
19	金	福岡天神医療リハビリ専門学校 (業界説明会)	松、塩
21	日	京都医健専門学校 (業界説明会)	大、中
23	火	故吉田充孝先生お別れの会	工、木、豊
25	木	理事会	
26	金	保険部会 (医療)	
30	火	中和医療専門学校 (業界説明会)	森川、長
		経理部会	

モンゴル国講師派遣 8/23～9/14

※出席者の名前と役職
を列記します (表中で
は頭文字のみを使用)

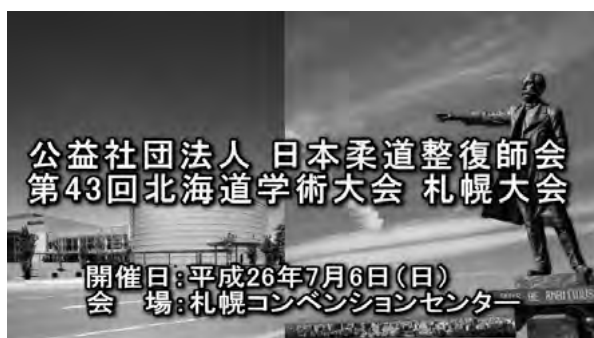
工——工藤日整会長
木——木山日整副会長
萩——萩原日整副会長
豊——豊嶋日整総務部長
佐——佐藤日整経理部長
三——三橋日整保険部長
松——松岡日整学術部長
伊——伊藤宜人日整理事
原——原日整理事
森——森本日整総務部員

橋——橋本東京都副会長
春——春原東京都理事
新——新井東京都理事
辰——辰野東京都理事
深——深井東京都理事
森川——森川愛知県会長
藤——藤川愛知県副会長
長——長谷川愛知県副会長
大——大西京都府会長
中——中田京都府理事
塩——塩川福岡県副会長

公益社団法人日本柔道整復師会 第43回北海道学術大会 札幌大会 第35回東北学術大会 岩手大会 会員発表（ハイライト） 動画配信

日整学術部では、ホームページ上におきまして全国各ブロック学術大会発表の動画を配信しています。

今回は、平成26年7月6日(日)に札幌コンベンションセンターで開催されました北海道学術大会 札幌大会と7月13日(日)にいわて県民情報交流センター・アイーナで開催されました東北学術大会 岩手大会の会員発表を配信いたします。



(動画再生期間 2014年12月1日～2015年1月末)

【動画の見方】

日整ホームページ (<http://www.shadan-nissei.or.jp/>) にアクセスし、 の後

学術部→学術大会会員発表動画 または

→第43回北海道学術大会 札幌大会

→第35回東北学術大会 岩手大会

をクリックしていただくことでご覧いただけます。

ユーザー名・パスワードは日整事務局（電話 03-3821-3511）にお問い合わせください。

日整HPからご覧いただけます

【学術部】

1. 日整主催学術大会一覧
 - ・平成26年度公益社団法人日本柔道整復師会主催学術大会一覧
2. 学術大会会員発表動画一覧
 - ・平成25年度日整主催学術大会会員発表ダイジェスト動画一覧
3. 富山大学寄附講座
 - ・富山大学寄附講座活動報告Vol. 6
 - ・富山大学寄附講座大学院修士課程入学案内
4. 「柔道整復学」専攻区分「学士」を目指す方へ
 - ・独立行政法人大学評価・学位授与機構について
 - ・科目等履修生制度の開設大学一覧 ほか
5. 「学術シリーズ」原稿募集
6. 生涯学習単位取得報告
 - ・平成25年度生涯学習・ボランティア活動単位取得報告
7. 平成25年度生涯学習単位取得報告書
 - ・平成25年度生涯学習単位・ボランティア活動単位報告書（ダウンロード可）
8. 平成25年度学術・生涯学習講習会報告
9. 「骨継ぎの知恵袋」アイデア募集
10. 公認私的研究会
 - ・公認私的研究会一覧

【国際部】

1. 学術大会における国際部活動報告
 - 草原に架かる虹を追って—モンゴルでの記録—
 - 第36回北信越学術大会 石川大会【動画配信】
2. 「日本伝統治療（柔道整復術）指導者育成・普及プロジェクト」情報
 - ・モンゴル国講師派遣 活動報告（派遣期間：8月23日～9月14日）
 1. ホブド県におけるバグ医師講習会・市民公開講座・スキルアップ講習会
 2. モンゴル国立医療科学大学付属看護学校伝統的准医師クラス講習会
 - ・第1回日本研修閉講式：JICAのホームページにも日本研修閉講式の記事が掲載されました。
<http://www.jica.go.jp/tokyo/index.html>
 - ・第2回日本研修開講式（10月21日）：JICA東京国際センターにて開催いたしました。
3. モンゴル国立医療科学大学附属看護大学85周年式典について（仮称）（10/9-10）タイトルは後日お知らせ
4. モンゴル国立医療科学大学 バタバータル学長の講演（10月12日）
 「モンゴルの医療制度について」ご講演いただきました。
5. チンギスハーンの国③
 柔道整復術を指導する講師としてモンゴル国を訪問した体験をご紹介します。紙面に入りきらなかった写真も掲載しております。
6. モンゴル国派遣講師募集【冬期】
 モンゴル国の柔道整復術指導者候補、国立医療科学大学学生、地方医療従事者に柔道整復術を指導する講師（派遣員）を募集いたします。
 - ・派遣予定 平成27年2月 ※決まり次第HPでお知らせいたします。
 - ・参加資格 本プロジェクトの趣旨を理解し賛同する日整会員で柔道整復術の講義および実技指導ができる。
 - ・募集人数 若干名（※応募者多数の際の選考はご一任願います）
 - ・応募締切 平成26年12月末日
 - ・応募方法 所属都道府県社団事務局を通して日整事務局に電話、FAXにてご連絡ください。
 - ・費用 個人負担なし 日整の規定により派遣期間は費用弁償いたします。
 自薦・他薦を問わず広く募集いたしますので、ご応募ください。

【日整HP「会員ページ」へのアクセス方法】

日整ホームページ（<http://www.shadan-nissei.or.jp/>）にアクセスし右下の **ログイン** をクリックすることでご覧いただけます。

パスワードは所属社団名と氏名を告げて、日整事務局（03-3821-3511）にお問い合わせください。

本の紹介

熱く生きる

学術部 松村圭一郎

「今、日本で一番有名な医師は誰ですか」という問いかけをすると、一番多く名前が挙がる方なのかもしれません。著者の天野篤先生は2012年2月18日、天皇陛下の冠動脈手術を執刀され、一躍全国的に有名になりました。実際、2013年末現在、通算執刀数6,500例を超える心臓手術、特にオフポンプの第1人者です。

しかしながら、先生の歩みは決して順風満帆ではなく、むしろその逆といってよいのかもしれません。医学部受験に3回失敗されたこと。研修先として第1志望であった病院の採用試験に受からなかったこと。医師としてお父様の3回目の心臓の手術に立ち会うも1週間後に亡くなってしまったことなど、強烈な試練が先生へ次々と襲いかかりました。

この本は、これまでの先生ご自身の生き様を赤裸々に、そして、体験の中から培ってこられた信念を明確に述べられたものです。

- ・積極的にリスクを負うとは
- ・目の前の病気ではなく、患者さんを診るとは
- ・心の真の平安をもたらすものとは
- ・医師になるべき人、医師を目指すべき人とは
- ・私のモチベーションとは
- ・緊急事態の時にパニックにならない方法とは
- ・思い悩んでいるときの解決方法とは
- ・手術記録の重要性とは
- ・師と士の違いとは
- ・医師道とは

等々、先生の見識、哲学が盛りたくさんに述べられていて、その主張は明快です。途中、アントニオ猪木氏や高校時代の話など思わず笑いの出る場面もあります。肩が凝らずに学生の方から中・高年の方まで興味深く一気に読むことができますと思います。私たち柔道整復師にとっても大変示唆に富む内容となっております。皆様方へご一読をお薦めいたします。



著者：天野 篤
 出版社：セブン & アイ
 定 価：1,600円＋税



北海道へ ジンギスカンを 食べに来ませんか？

公益社団法人北海道柔道整復師会 高山 訓正

北海道を代表する食べ物に鮭・ウニ・カニなどの海鮮料理やラーメンもありますが、北海道の郷土料理であり北海道遺産に選定されているジンギスカンもその一つに数えられます。

■歴史

かつてモンゴル帝国を率いたチンギス・ハーンから名付けられた説もありますが、命名したのは滋賀県出身の駒井徳三氏で、戦後満州国から帰国し羊肉を焼いた中華料理「コウヤンロウ」を日本人の口に合うようアレンジし「ジンギスカン鍋」と名付けたようです。

なぜ日本で食べる習慣がなかった羊の肉料理を広めたのか？それは日本軍の制服の素材である羊毛の自給のために行われた「綿羊百万頭計画」で育てられた羊の肉の消費の必要性からで、札幌・月寒・滝川など全国5ヶ所に種羊場が作られ、肉の消費もこの地を中心に進められました。その数は当時の95万頭をピークに現在は1万頭に減少しました。

■羊肉と意外な健康効果

羊肉には生後1年未満のラム肉（仔羊）とそれ以降のマトン肉（成羊肉）があります。ラム肉は柔らかく臭みが少ないことから筒状に丸めて冷凍したものをスライスした「ロール肉」や、たれに漬け込み「味付け肉」に、マトン肉はしっかりとした歯ごたえと、羊本来の味わいを楽しめ主に「味付け肉」として提供されます。

味付肉の発祥は滝川市に本店を置くマツオの「松尾ジンギスカン」ですが、ほかにも北海道各地の精肉販売店や焼き肉店で独自の味付けジンギスカンが販売されています。

羊肉には鉄分がほかの食肉より吸収されやすい形で数倍～数十倍含有され、また脂肪の燃焼を促進するカルニチンも多く含まれ、更

にリノレン酸は血栓症や高脂血症の予防に優れるため美容と健康を考える人の味方でもあります。

■ジンギスカン鍋

焼き鍋は中央が盛り上がった形をしたものが一般的で、南部鉄製や電磁調理器対応、アルミ製鍋までさまざまなものがありますが、スリットが入ったものは七輪専用で穴から油が落ち、更に隙間からの炎や熱で肉に程よい焦げ目が付き炭火焼きのような香りと味も楽しめます。また鍋の周りの低くなったところは、溜まった肉と野菜の汁で野菜を煮るように設計されています。

■北海道の名店？

- ①ツキサップじんぎすかんクラブ：月寒種畜牧場が前身で、牧場跡を眺めるテラスでもジンギスカンが楽しめる。七輪の炭火焼で燻しながら食べるマトンの生肉は、その本来の味が楽しめる。北海道を代表する老舗。
- ②松尾ジンギスカン：味付き肉の代表格である。まず鍋の周りに野菜を敷いて真ん中に肉を直接並べ、流れてくる味付きの肉汁を絡めながら焼き上げる。野菜にも十分な味が付いているのでそのままどうぞ。札幌・千歳空港などにも支店あり。
- ③さっぽろジンギスカン：誰もが最初は躊躇する店構えだが、マスターが手切りで提供する羊肉の美味しさはぴかー。排煙設備などは期待すべくもないが、それでも羊肉の生の旨さを堪能したいのならチャレンジしていただきたい店舗である。
- ④成吉思汗だるま：すすき野では言わずと知れた専門店。大きめにカットされたマトン肉は臭みがなく深い味わいがある。最後にお茶を頼めば、創業以来変わらぬ

つけだれにお茶を注いでくれる。これが意外に美味しい。

- ⑤ラムハウス・ケケレ：このお店の売りは羊を一頭買いして捌くため、ほかでは食べられない貴重な部位を食べられることだ。運が良ければラムの刺身や、ラム皮、赤身、カルビ、スペアリブなども味わえる。

- ⑥サッポロビール園：赤レンガ造りの旧ビール工場をビール園として改装し、ジンギスカンや、海鮮メニューを北海道限定のサッポロクラシックビールとともに提供している。

どうでしょう、北海道へジンギスカンを食べに来ませんか？



◆原稿締切日は奇数月20日です◆

〈投稿される会員へお願い〉

ワードまたは一太郎などで作成された原稿の場合は、そのファイルをメールでご送付ください。

★編集会議の結果、投稿の内容により未掲載となる場合もありますのでご了承ください。また「投稿」の場合、必ず日整広報原稿と記入または入力してください。

★投稿文は各都道府県事務所を通して応募ください。

★原稿・投稿者名にはふりがなをお願いします。

宛先：“日整広報”〈kouhou@shadan-nissei.or.jp〉

日整広報はつつ発行日と原稿締切

※原稿の締切厳守をお願いします。(広報部)

号 数	230号	231号	232号	233号	234号	235号
原稿締切	11月20日	<small>平成27年</small> 1月20日	3月20日	5月20日	7月20日	9月20日
発 行	<small>平成27年</small> 1月20日	3月20日	5月20日	7月20日	9月20日	11月20日

私の夢

『夢』



(公社) 北海道柔道整復師会 附属北海道柔道整復専門学校

3年昼間部

辰口

耕樹

私には人生のテーマがあります。

それは「人を笑顔にできるような人間になる」ということです。これは私がずっと思ってきたことですが、それを強く自覚させる出来事がありました。

それは2年前、東日本大震災の復興支援ボランティア活動に参加させていただいたときのことでした。その活動は宮城県に設営されている仮設住宅を訪問し運動教室を開くというもので、そのときお話ししたおばあちゃんに言われた言葉が心に深く刻まれました。「生きていれば立ち直れないほどつらいこともあるけれども、いろんな人のおかげで笑っていられる。笑っていられるということは幸せなこと。今日は北海道から幸せを運んでくれてありがとう」と。このとき、人を笑顔にする大切さ、素晴らしいさを改めて感じる事ができたとともに、人を笑顔にする喜びを実感させていただきました。そのときから「人を笑顔にできるような人間になる」ということが私の人生のテーマであり目標であり、夢になりました。

笑顔にしたいと考える中で人を笑顔から遠ざけ

るものは何かを考えるようになりました。笑顔から遠ざけるもの。それは「痛み」ではないでしょうか。痛みがあると、不安やいらだちなどマイナスな感情が人を包みます。それらは人を笑顔から遠ざけてしまいます。

その痛みを取り除くことが人に笑顔を取り戻すために大切なことだと思えます。そのために医師が診察し、時には注射や手術をするように、鍼師が鍼を打つように、人の痛みを取るためにさまざまな職種の方が活躍しています。

そんな中で柔道整復師も人の痛みを取り除くことを目的とし施術を行う職業だと考えます。柔道整復師の施術の特徴は、人の痛みに対して心に手を当て治療を行うということではないでしょうか。つまり柔道整復師は患者さんとの対話を通じ、患部を癒していく。ただ怪我を癒し、痛みを取り除くだけでなく、心から不安感や恐れを取り除き癒す。そして人を笑顔にしていける、そんな素敵な職業だと私は考えます。

私の夢である「人を笑顔にできるような人間になる」ことを叶えるために、柔道整復師として一

流の治療家になるということが重要になると思います。

一流の治療家となるために、「多くの経験」、「確かな技術」、「人と向き合う真摯な心」この3つが大切になるのではないかと私は考えます。

学生の私にはできることはまだ限られています。特に経験を積む、技術を磨くということは難しい部分があります。ですから今の私ができることは心を磨くことだと思えます。

「心を磨く」それは次の2つが考えられます。

一つ目は知識を身に付けるということです。これにより患者さんのことを理解することができるようになり、向き合うため下準備ができるのだと思えます。

二つ目は人と正面から向き合える心の余裕を持つことだと考えます。これを培うためには、多くの人と会話をし、相手のことを思いやった言葉や態度、これらを考えながら日々の生活を大切にしていけることが重要だと考えます。

学生でいられる時間も残りわずかになってきました。学生にしかできないことは多くあります。クラスの仲間と共に考え、先生方に相談をして「分からない」を「分かる」に変えていけるよう、日々多くのことを学んでいきたいと思えます。

そして、3月の国家試験後に仲間と全員で最高の笑顔になれるように。自分の夢を叶えられるような柔道整復師になれるよう日々進んでゆきたいと思えます。



木曾馬が生まれました

公益社団法人長野県柔道整復師会 高田 保

木曾馬とは長野県の木曾地域を中心に飼育され、本州で唯一の日本在来種の馬です。もともとは蒙古の大陸系の馬で、飛鳥時代から農耕馬として重宝されてきました。一時は絶滅寸前の危機を迎えましたが、木曾馬保存会などの活動で、現在は160頭ほどが生存しています。

大自然に囲まれた開田高原では、木曾馬に乗って林道や草原を散歩するトレッキングが盛んで、初心者から子供まで楽しむことができます。

ここには養護学校の生徒も訪れ、ホースセ

ラピーが行われています。ホースセラピーの起源は、古代ギリシャの兵隊が負傷兵を馬に乗せたところ、治療効果が上がったことに始まります。18～19世紀には、欧州の貴族たちの間で馬に乗ることが体に良いとされました。日本では1950年代にホースセラピーの組織が立ち上がり普及しました。

今年の4月5日には、木曾郡上松町の丸山敬一さんの家で、貴重な午年の仔馬が生まれました。その愛くるしい眼を見ると優しい気持ちになります。



▲母馬に寄り添う仔馬の銀道

日整フォーラム

Nissei Forum

国民のため、地域住民のため、患者さんのため公益活動をしてまいります

北海道

災害医療研修会

平成26年8月30日(土)午後4時、北整会館4階講堂にて「災害医療研修会」が開催され、全道各地から113名が出席しました。この研修は本年5月、北海道と本会との間で締結された災害救助協定に基づき、不測の医療救護派遣要請に対して即応できる体制づくりを目指す取り組みの一環として行われました。

研修会は講師に塩見猛会員(小樽ブロック)を招き、はじめに災害医療概論として災害の定義、種類、分類など、また災害時の体系的な対応(CSCATTT)では指揮、安全、情報、評価、トリアージ、治療、搬送について詳しく説明されました。

続いて本部運営と記録の説明ではホワイトボードの記載の意義と共有すべき情報、経時活動記録(クロノロジー)、災害のマネジメント:6R、本部人員と係、配置などについて説明された後、本部運営実習に入りました。

本部運営実習では出席者が8チームに分かれて、本部長、副本部長、記録係(クロ・PC)、連絡係(伝令・電話・無線)、地図係(マッピング・ルート検索)などに分担して行われました。実習は分刻みに何度も伝達される情報に各担当が敏速に対応しなければならないため、とても緊張感のあるものとなりました。

休憩を挟み、チームビルディング・組織論の説明では組織の5原則、チームワークの要件として優れたリーダーの存在、チー

ム目標・目的が明確、目標に向かって一致団結、メンバーの能力総和を上回る能力の発揮、成果が見えて共有化されていることが重要であると説明されました。

続いてディスカッション方式の災害派遣シミュレーションでは出動準備、個人装備・チーム装備、被災地での活動開始、活動場所の選定、宿舎の選定などの設問に対して、グループごと意見が述べられました。またトリアージ現場活動の実技ではスライドシミュレーションにてトリアージの分類が行われ、実践的で多義にわたる4時間超えの研修は、その時間を忘れさせるほどの内容でした。



▲塩見会員



▲実習練習

最後に、塩見猛会員が実際に東日本大震災で柔道整復師として医療救護活動に入った福島県内の活動と実状の様子などを報告し研修会は終了となりました。(広報員 高山訓正)

関東地域

栃木県

『防災の日』の意味を忘れずに 平成26年度栃木県総合防災訓練

皆さんは9月1日が『防災の日』であることを覚えておいででしょうか？

1923年(大正12年)9月1日午前11時58分に発生した関東大震災を教訓として、防災意識を高めるのが目的として定められ、各地でこの日を目安に防災訓練を行うことが多い。

栃木県では各市が持ち回りで主催し、9月1日直近の日曜日に開催となっている。

災害を想定し、警察・消防・自衛隊およびライフライン保全事業者などの防災関係99団体が、一同に会し約1,300人が参加する大規模訓練は、当会にとってアピールをする場でもあるが、非常時に適切な活動ができるよう、貴重な訓練の場となっている。

若林会長を含む理事5名、支部長3名と小山支部会員を中心に総勢23人で参加した。

訓練は「平成26年8月31日午前8時59分、栃木県南部に直下型の地震が発生」震度7を観測し、甚大な被害が発生との状況を想定して行われた。

当会の災害救護奉仕団の役割は、傷病者救護活動・搬送訓練となる。



▲啓発展示テント

訓練が開始されると、最初に栃木県消防防災航空隊の防災ヘリ『おおるり』が、すぐ隣の訓練会場に現れ、ホバリング状態から隊員たちがロープで降下し、ホイスト装置で傷病者を収容していった。

一方当会救護班は、日赤栃木県支部職員の現場指示で一斉に出動し、手際よく応急手当を行った。

また、栃木県医師会・看護協会などの他団体との合同訓練のため、想定外の要求・指示があったが、当会の救護班は臨機応変に対応し、柔道整復師の力量の高さをアピールできた。



啓発展示テントでは、担当会員による『骨密度測定』と『健康相談』を実施した。

こちらはいぶし銀の魅力で来場者の笑顔が絶えることなく、318人を測定しデータの説明を行った。

『日赤接骨・整骨災害救護奉仕団』は平成12年に結成されたが、公益社団法人の事業を通して地域社会に布石を打ち続け、我が業界における地域との連携醸成に結びつけてきた。

また、栃木県主導の『災害医療運営協議会』において、医師会をはじめ他の医療職の方々と『災害医療体制運用マニュアル』の策定中であり、

栃木県内で震度6弱以上の地震が発生すると、県災害対策本部・県災害医療本部が自動設置され、当会も救護班の編成・派遣の役割を担うことになっている。

今後もさまざまな訓練や救護活動に参加し、実績を積み上げ、県民の皆様へ社会貢献をしていきたい。

(広報員 塚原 剛)

平成26年度第1回
生涯学習講習会、一般公開講座
「ソクラテスになって走る」
～なぜ走るか、いかに走るか～

ゆっくり息を吐く…そして 自然の風を吸う

本会は平成26年7月13日(日)、群馬県農協ビルで生涯学習講習会を開催した。第1部は、会員による実技講習、「ギックリ腰」の施術方法。第2部は、前橋市接骨師会の「介護予防事業・ひざ腰らくらく教室の取り組み」について発表。特別講演は、一般公開講座「ソクラテスになって走る」～なぜ走るか、いかに走るか～と題して、山西哲郎立正大学社会福祉学部教授が講演。21人の一般聴講者と一緒に体を動かしながら、走ることと考えることについて学んだ。

はじめに、先生は考えが混乱してしまったとき「一人になって考えるために走っている」と話し「物事が分からなくなったときは、体を動かし、歩いて考えると考えが進む。ソクラテスは、動きながら考え、動いて考えることが人間の進歩をもたらしたと述べている」と説明した。



ヒトは持久力を進化させた

雑誌「ネイチャー」に「Born to run」という記事が掲載された。250万年前、ヒトは狩猟の際、獲物を見つけて追い立てると獲物は全力で逃げる。獲物より遅い速度でしか走れないヒトは獲物の足跡をゆっくりと追いかけていく。これを繰り返していると獲物は2時間後くらいには熱中症になり倒れてしまう。これを「持久狩猟の戦略」という。

ヒトは、「発汗」により身体冷却能力を進化させてきた。暑熱下でも長時間走ること、ライオンにもできない暑熱下のハンティングを可能にし、暑さに弱い獲物を疲労困憊に追い込み捕獲することができた。「馬とヒトではどちらに持久力があるか」を比べると、東京～日光間110kmを、馬は6頭で14時間、人力車は一人で14.5時間で移動することができた。

人類学者たちは、「動く」ということで人間は進化してきたことを証明した。3km/hの歩行より、9km/hのランニングの方が前頭葉を活発に使用していることが分かる。

ゆっくり走った方がものを考えることができる。

有酸素運動は、体が丈夫になり脳が進化する。

感性と科学の繋がる自然教育

太陽の昇る位置一つでも人間は自然の変化を感じ取り、感性と科学が結び付く。「体」「脳」「心」を繋げるには、素足で芝生の上を歩くことを学生に教えている。

運動してその感覚を言葉で表現することにより、人間は深く考えることができる。内なる自然と外の自然の融合で「五感」が甦る。最初は素足になるのを嫌がっていた学生も、芝生の上を嬉々として歩くようになる。

意欲を高めるドーパミン

爽快感が感じられる運動を行うと、意欲を高めるホルモン「ドーパミン」が前頭葉に作用する。無理強いされ、苦痛を感じてしまう運動では、脳が快感を得ることはできない。

快適なジョギングのスピードは、会話を交わしながら走れる程度。会員2人が

壇上に上がり、山西先生の指導を受け、最適なウォーキングとジョギングの実演を行った。

朝、昼、夕方の健康プログラムを示し、筋力トレーニングを行うのは夜が良い。筋肉は負荷を与え、修復の作用が有効に働くことで筋力が増加する。運動後に就寝することで筋力はより強く回復する。

筋力の衰えが老化を加速する。これからは年金生活ではなく、筋力を強める「年筋生活」を実践しなくてはならない。

「動けば考えが深まり豊かになっていく。人間の足は、考える葦である。ゆっくり息を吐き、自然の風を吸って、運動することが『歩禅』『走禅』まで高まっていくことで自由に観念を喜ばせることができる」と締めくくった。

市の依頼で体操実施

前橋地区の兵藤久嗣会員は、特別講演に先立ち、市からの依頼を受け「ひざ腰らくらく教室」を3ヶ月で計12回開催してきたことを報告。対象者は65歳以上で要支援または要介護認定を受けていない、今後そのリスクを抱えた方々である。教室を開始するに当たり、参加者の体の動きをチェックして数値化し、開講時の数値と最終日の数値を比較し効果を分かりやすく示した。また筋肉の保持や増強を目指し、百歳体操などを取り入れて転倒予防も図ってきた。こうした健康福祉の分野において柔道整復師のマンパワーを発揮し、今後地域包括ケアにも対応したいと考える、と語った。



(広報員 永井 毅)

千葉県

平成26年度 第2回超音波断層画像公開研究会

平成26年7月20日(日)、本会接骨師会館において、本会の嶋木先生が世話人となって主幹する標記の研究会が、第1部は介護関連、第2部は超音波に関する研究会が開催されました。

介護関連研究会

このたびの小規模デイサービスの要件が大きく改定されることをを受けて、デイサービス業務に参入している佐藤一義先生および石橋接骨院リハビリデイサービスの沖野正知先生による研究発表が実際の運営内容を開示し報告されました。講演の中で特に注意すべき点は、要綱は地域市区町村により対応の違いがあり、要綱の改定が国は3年毎、市区町村は1年毎にあるので、それぞれの地域での最新の要綱を熟知することが重要とのことです。

超音波断層画像公開研究会

演題「超音波診断による痛みの評価

基礎編・実践編」

講師 江戸川病院整形外科 奥野祐次先生
血管と痛みの関係に焦点を当て追求し研究した先生は、超音波診断装置のカラードプラー機能を用いたリアルタイム検査により、成長と加齢の過程、あるいは炎症や組織の損傷と修復の過程の中で見られる、異常な血流と血管を画像として捉え、質的な評価を行うことを長年研究されてきました。そして現在先進的な運動器カテーテル治療を臨床で行っています。



▲奥野先生



▲介護関係講師陣

痛みと血管の関係

先生いわく、痛みなどの感覚は、普通「神経」によって伝わります。

それなのになぜ痛みは「血管」と関係あるのでしょうか？

実は血管と神経は「対になって伴走している」ことが知られています。つまり、常に一緒に存在しているのです。

顕微鏡で血管と神経を観察すると、太めの血管の周りに細い神経線維が存在しているのが分かります。このように、血管と神経は一緒に存在しており、痛みのある場所に血管がたくさんできることが知られています。アキレス腱炎やテニス肘といったスポーツの痛みでも、血管が「異常に増えてしまう」のです。

炎症の起きたアキレス腱を、カラードプラー機能を備えた超音波で観察すると、血管を示すドットが見られます。正常ならアキレス腱の中にこのような血管は一切見られないのですが、炎症の起きている状態では、血管が存在していることが分かります。

モヤモヤ血管の増殖

これは異常な血管が「生えてしまっている」状態で、この新しい血管の発生に伴い神経も増えてしまうことが知られています。

痛む箇所では血管が増殖しており、その近くで神経も増えてしまっている。この「異常な血管」の増殖と、それに伴う「神経」の発生が痛みの原因になっていることが多々あるのです。

運動器カテーテル治療では、この「異常に増えた血管」にアプローチします。痛みのある患部の中樞からカテーテルにより抗生物質を注入

し、余計な血管を減らすことで痛みを取り除き、正常な状態に戻す治療ですと説明、そしてさまざまな症例を解説し講演されました。

柔道整復術にも…

先生は、ストレッチや徒手による圧迫などでも、効果が確認されていると述べておりましたので、我われ柔道整復師の施術の有効性が超音波ドプラー観察で証明できれば、エビデンスに資すると思われ、また患者さんに対するインフォームドコンセントにも有効な手段であり、柔道整復学の構築にも優れた学術的アイテムと考え、今後更に研究する必要性を感じました。

厚生大臣旗争奪 第38回日整全国柔道大会 南関東大会

平成26年8月3日(日)、標記の大会が、(公社)神奈川県柔道整復師会代表選手対、本会代表選手により、千葉市武道館において開催された。

開会式

山岡本会総務部長の司会進行により開会式が始まり、高橋本会副会長の開会の言葉に続き、開会の挨拶で岡本本会会長は「選手の皆さんは業務の合間を縫っての稽古なので、十分な準備ができた方、できなかった方さまざまですが、明日からの施術業務に支障なきよう怪我に注意し頑張ってください」と挨拶された。

続いて和田秀樹(公社)神奈川県柔道整復師会会長の参加選手に対する激励の挨拶、両チームの監督選手紹介、審判団紹介、審判長注意がありいよいよ試合開始。



▲全国大会出場選手

猛暑の中熱戦が展開

記録的な今夏の猛暑が本日も続く中、各年代とも年齢を感じさせない若さあふれる動きで、日ごろの稽古の成果を十分に発揮した熾烈な戦いが繰り広げられ、全国大会への代表選手が決定した。

南関東ブロック代表・監督・選手

区分	氏名	段位	県名
監督	須賀 康明	八段	千葉
50歳代	並木 俊二	四段	神奈川
40歳代	岡本 雅信	六段	千葉
30歳代	坂本 周作	五段	神奈川
30歳代	小川 武志	五段	神奈川
20歳代	軽部 友和	四段	神奈川

懇親会

大会終了後、黄昏時の千葉港を望む素晴らしいロケーションの千葉スカイウィンドウズ東天紅に席を移し、お互いの健闘を称え合うと共に、全国大会に挑む代表選手を激励し、和やかな歓談のひと時を過ごし、大会は盛会裏に終了した。

第35回九都県市合同防災訓練

平成26年9月6日(土)、標記の大規模訓練が、南房総市和田町南三原地先和田地域福祉センター前において、千葉県・南房総市・公益財団法人千葉県消防協会主催により開催された。

本会房総支部会員5名・日整広報員・事務局が参加し、応急救護所において、医師会・歯科医師会・看護協会・薬剤師会・日赤千葉県支



部・DMATと共に、応急救護所の中等症および軽症テントにおいて、トリアージ担当者はトリアージポストに搬送されてきた負傷者に対してトリアージを行った。応急救護担当者は各機関と連携し、骨折・脱臼・捻挫・打撲等に対して応急救護処置を施すと共に、必要に応じ医師と相談の上、後方医療機関に搬送するなどの支援活動を行った。

迫真の訓練

今年度は、集中豪雨による土砂災害が各地で発生し、甚大な被害が多数あったことを受けて、土砂崩れ現場を再現（実際に模擬被災者を土砂に埋めた状態）し、救助犬による被災者の発見・自衛隊および消防レスキュー隊による救助を行っていたのが印象的であった。

本会会員は、次々に搬送されて来る被災者モデルに対し、日常の施術業務を生かし迅速かつ適切に処置を施していた。

閉会式の挨拶で森田健作千葉県知事は災害時の「自助・共助・公助」の内、自らの命を守る“自助”の重要性を強調していた。

社会貢献へのアピール

近年、地球温暖化により気象の変化が激しさを増し、頻繁に起こる集中豪雨、巨大台風の発生・東南海トラフ大地震および首都圏直下型地震が懸念されている。大規模災害現場での応急救護に、直ちに役立つスキルを持った我われ柔道整復師は、貴重な人材であることを国民および行政にアピールする絶好の機会なので、業界の認知度および好感度を高めるためにも、使命感を持ってこのような行事に積極的に参加していくべきと考えた。

(広報員 渡辺 勇)

北信越地域

石川県

CHALLENGE MY HEART 草刈奉仕活動報告

チャレンジ・マイハート草刈奉仕活動が平成26年8月24日(日)、午前6時から野々市市社会福祉法人「サニーメイト」にて行われた。早朝から曇り空ではあったが、会員、家族、有志、施設職員23名が参加し、それぞれが鎌や草刈り機などを持参し奉仕活動に汗を流した。参加者は金沢周辺だけでなく能登、加賀といった遠方の会員も参加し、タオルで汗をぬぐい中腰が続く作業の合間に腰を伸ばしながら作業を行った。

今年で15年目となる草刈奉仕活動だが、施設の方々と会員同士が交流を深め合い、笑顔があふれ和気あいあいとした雰囲気の中で進められ約2時間で終了した。



▲集合写真

(広報員 佐藤裕之)



講師として大石内科循環器科医院から派遣として活動されている運動療法インストラクターの下村佳子先生を招き、筋力強化を目的とした運動や、呼吸および脳の活性化を図る体操から、自宅でも簡単にできる運動の指導が行われた。

中でも、骨盤底筋肉の強化運動にはタオルを使用することで簡単に鍛えられる方法や、座りながらつま先を7cm上げることで前脛骨筋を鍛え転倒の予防に繋がる運動方法には、来場者の関心が高くみられた。

今回は会員も含め約30人が参加していただき、一般の方々と健康という共通のテーマを違う目線から交流することで有意義に行われた。

静岡県では健康推進部による、幼稚園児を対象とした「親子で学ぶ上手な転び方教室」も保育園で毎年開催し、負傷の中でも多くみられる転倒によるケガに着目し、柔道の受身を基本とした「柔らかか転び」という「転び方」に沿い、最小限のケガで済むように自分の身を守る転び方の指導を行っている。

親子で学ぶことで楽しく知識が高められ、親も子も日常での些細な行動から起こりえるケガが、少しでもなくなるよう指導に力を入れている。

高齢化社会が加速するなか、柔道整復師としてのスキルを幅広い視点で、子供からお年寄りまで地域に密着した「あなたの町の接骨院・整骨院」として、今後も活動していきたいと思う。

(広報員 上杉一寿)

東海地域

静岡県

転倒予防教室

平成26年9月15日(月・祝)、静岡商工会議所において、第30回静岡接骨学会と同時に、高齢者転倒予防教室「楽々バランス体操講座」を行った。

愛知県

愛知県4会員がJOC強化スタッフに

この夏の終わり、韓国仁川^{いんちよん}でアジア大会が開催された。ボウリング競技で日本は、男子ダ



▲救護・ケアするスタッフ



▲北川副会長（右から2番目）と参加会員

ブルスで金・銀メダルを独占し、トリオ戦でも金メダルを獲得した。彼らの活躍に、ほんの少しだが愛知県の会員が貢献したのはご存じだろうか。

本年5月3日から6日の黄金週間、公益財団法人全日本ボウリング協会のナショナルチーム強化合宿が三重県鈴鹿市のグランドボウルで行われた。そこへ会員4名が救護・ケア要員として派遣されたのが事の発端である。同協会の副会長である北川薫中京大学学長より本会へ派遣要請があり、理事会承認を経て本会事業部がメンバーを人選し現場へ赴くこととなったのである。この合宿で今回のアジア大会出場者をはじめチーム全員に手技を施しサポートした。従って会員が今回のアジア大会メンバーを微力ながら貢献したというわけだ。

名古屋市昭和区にある中京大学は室伏広治、浅田真央、安藤美姫、村上佳奈子ら有名アスリートを輩出していることで有名である。本会への派遣を要請された北川学長とは、県柔道連盟関係者でもある同大学教授からご紹介いただいて懇意にさせていただいている。先生は柔道整復師の職能を高く評価され、日整広報 (VOL.185)

の柔整サロンにも登場いただいてスポーツシーンでの柔道整復師の活用を提言されている。毎年豊田市で行われる全日本マスターズハンドボール大会にもご依頼いただいて救護員を派遣している。一方で本会のお願いにも応えていただき、本会主催の県民公開講座では、平成21年2月の第2回でご登壇いただいている。今回のJOCスタッフ推薦も、このような日ごろのお付き合いの中から生まれたといえる。

前述のボウリング選手の強化合宿は、男女36名の選手と役員約10名の計46名で構成され、5月2日から6日までの合宿期間、3、4日の1泊2日の日程で、事業部を中心に小林弘治部長、井上哲三部員、小野文行会員、押谷昌之会員が参加して選手の救護・ケアに当たった。参加会員は、対象が全日本クラスの選手であること、初めてのボウリング競技への対応であることで非常に緊張したという。選手役員コーチ陣も柔道整復師を受け入れるのは初めてのことで、最初はお互い不安な面持ちであったが、結果的には愛知県柔道整復師会の看板を背負って懸命に活動した会員に好感触を持ってもらえたようだ。全日本レベルの選手ということで、急性、亜急性の運動器軟部組織損傷があっても、練習と大会に明け暮れ安静にできないことが多く、ついつい損傷部位の処置が遅れ放置されているケースが多かったようだとの報告も受けている。

夜のミーティングで柔道整復師について講義をしてほしいと北川学長から依頼されており、事前に準備して嘉納治五郎先生が日本体育協会の前身である大日本体育協会の創設にご尽力されたことやスポーツ精神などに関してさまざまな言葉を遺されたこと、スポーツ外傷やその処置などについて述べた。北川学長はじめ朝日大学の山本英弘教授ら権威ある方々が同席する中、これまた非常に緊張したとのことだった。

このような2日間の昼夜の懸命な活動が認められ、また北川副会長の多大なご理解を得て、7月1日付けで、会員4名が全日本ボウリング協会から日本オリンピック委員会 (JOC) の「強化スタッフ」に推薦された。コーチング、マネジメント、情報・戦略、医・科学の4種のうちの医・科学スタッフとして登録される。大変名誉なことであり、また6年後の東京オリンピック・パラリンピックで救護員として日整会員も

参画していくという目標のなかで、一つの嬉しいトピックでもある。

折しも、工藤鉄男日整会長が東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問会議の顧問を委嘱され、柔道整復師が活躍できる道が開けようとしている。また、次回のボウリングアジア大会への帯同も予想される。4会員には、愛知県ばかりでなく全国の柔道整復師の代表としての活躍が期待される。

(広報員 長谷川貴一)

近畿地域

滋賀県

ビーチバレーボール大会の 救護活動

日本最大の湖で、近畿の水瓶でもある琵琶湖。その大津市の湖岸にあるなぎさ公園サンシャインビーチにおいて「第18回大津市学区対抗ビーチバレーボール大会」が平成26年7月20日(日)に開催されました。その大会に本会の湖西地域から2名の担当会員が救護スタッフとして、主催者より要請を受け参加しました。

試合当日は、梅雨明け宣言もされ、朝から晴天に恵まれました。気温は昼前にはすでに30度を超える真夏日となりました。今大会の参加者は、男女25チーム、控え選手を合わせると250人を超える参加者で、8時半から始まった開会式では、大会長の挨拶、競技説明に続いて我われの待機する救護ブースとスタッフ、そして救護内容についてもご紹介いただきました。また今回は、近隣病院から看護師さんも同救護ブースに待機されました。

ビーチバレーボールは、室内のバレーボールとは違い足元が砂のため、ジャンプをする際に踏ん張れずしっかり跳ぶには少しコツがいるようです。競技自体に接触プレーはあまりなく、大きな怪我にはなりにくいようですが、砂上での競技のためか擦過傷を負われる選手の方が非常に多く、待機されていた看護師さんは、その処置に大変忙しくされていました。当日、私が取材した時間内では負傷をされた選手の方はお



られませんでした。運営スタッフの方が会場設営時に腰部を負傷され、救護ブースで処置を受けられました。

他の競技会場でもそうですが、選手だけではなく、運営スタッフの方に発生する怪我の処置をする機会も少なくないです。怪我のないことが一番良いのですが、負傷で来られたときに適切な処置を行い、適切な判断で次の指示をすることが、現場での我われの責務ではないかと思っています。

本会も公益社団に移行し、より公益性が高まり救護、健康業務関連における社会貢献が求められています。ここ大津市では、柔道、サッカー、駅伝、グランドゴルフなど他種目にわたり体育関連事業が開催されており、ほとんどの大会に要請を受け参加、協力をしています。こうしてスポーツ支援救護活動を通じ専門的な立場で地域の皆様と関わっていくことにより、地域での信頼を得、柔道整復師の認知、業務の理解がより高まっていくものではないかと考えます。



▲救護ブース

(広報員 岡田博之)

京都府

社団法人設立60周年・協同組合設立25周年 記念式典・祝賀会

平成26年6月8日(日)、京都ホテルオークラ4階暁雲の間において社団法人設立60周年および協同組合設立25周年記念の式典・祝賀会が開催されました。

午前11時、中田康人総務部長・遠藤のぶ子様司会、長尾淳彦副会長の開式の辞をもって記念式典が始まりました。国歌斉唱、大西辰博会長の式辞、関弘美協同組合理事長の挨拶が行われました。続いて、各表彰が行われた後代表して林啓史保険局長が謝辞を述べられました。

来賓の祝辞では、山田啓二京都府知事、門川大作京都市長、伊吹文明衆議院議長、田中英之衆議院議員、二之湯智参議院議員、西田昌司参議院議員、工藤鉄男日整会長からお言葉をいただきました。

祝賀会では、森洋一京都医師会会長ご名代安達秀樹副会長、野中広務元自民党幹事長、田中英夫京都府議会議員、片山誠治京都府議会議員、村田正治京都府議会議員、橋村芳和京都市議会



▲大西会長



▲山田知事

議員より祝辞をいただきました。木山時雨日整副会長の乾杯の発声の後、祝宴が始まり祇園甲部の芸妓・舞妓による祝舞により華やかな宴となりました。あちらこちらのテーブルでは芸妓・舞妓と歓談や撮影をされていました。

最後に、萩原正和日整副会長の万歳三唱、柴田宗宣副会長の閉会の辞をもって盛大かつ華やかに閉会となりました。

(公社)京都府柔道整復師会 学術部・京都仏眼医療専門学校 第2回合同講習会

平成26年6月29日(日)、午後1時から京都仏眼医療専門学校にて標記講習会が行われました。

在校生や卒業生、本会会員など多くの方が参加され、本会柴田宗宣副会長の開催の挨拶・業界情勢等のお話に次いで、椎名京京都仏眼医療専門学校校長の挨拶にて開始となりました。第一講演は平井秀征先生による「隠れた原因」と題された内容の講演が行われました。平井先生は名古屋市中区で「はな接骨院」にて院長をされており、柔道整復師養成校の教員免許も取得されています。スポーツ医学を活用されてプロや学生のアスリートへのサポートにも力を注いでいらっしゃる先生です。貴重な体験談を聞かせていただき、日ごろから丁寧な問診・視診・触診を行うように心がけてほしいとのことでした。

次いで第二講演、山本隼年先生による「整骨院で行うスポーツ選手に対する運動療法」が行われました。山本先生は、NTTドコモの所属ラグビーチーム (Red Hurricanes) の専属トレーナーをされており、アスレチックトレーナー、コンディショニングコーチ、スポーツ科学の知



▲講演する平井先生



▲実技指導の山本隼年先生

識や技術を用いたS & Cトレーニング、アスレチックリハビリテーションを行われています。整骨院でのスポーツ選手をサポートする際の復帰までの流れ、再発防止・パフォーマンスの向上についての考え方を講義され、ハムストリングスの肉離れを例に原因・エクササイズの指導をしていただきました。最後に参加者からの質疑応答があり、午後4時に終了しました。

本会では、京都府内の柔整養成学校と協力して定期的に講習会を開催し、在校生や卒業生に本会事業への理解を深めてもらうよう説明会などを行い、本会会員との交流を図っています。

(広報員 中川稔貴)



が、やってよかったなあと思います。

帰り際に「来年もあるんですか」と聞いてくださる方もいたので、来年に向けて新たな試みをと、考えています。

3時間の講習時間ですが、非常に時間が経つのが早かった感じがします。

参加してくださった皆さんには感謝申し上げます。

和歌山県

テーピング講習会

平成26年6月15日(日)、和歌山ビッグウエーブの武道場で、標記講習会を開催しました。

今回の参加者は、一般・学校の先生・高校のスポーツ部のマネージャーなど56人の方に参加いただきました。この日はワールドカップサッカー日本戦の放送が10時からある中、56人の方に参加していただき大変嬉しく思います。

足関節・膝関節・拇指(伸展痛)のテーピングを指導しましたが、あまりテープを巻いたことがない方が多く、皆さん悪戦苦闘しながらも和気あいあいとできたかと思います。また、あちらこちらで今回の部位ではないところのテーピングを講師に質問して真剣に自分のものにしようとする姿が印象的でした。

テーピングの後、シナプソロジーとストレッチを指導しましたが、シナプソロジーの部分では、笑い声や笑顔が見られ今回初の試みでした

第26回和歌山県 柔道整復師会少年柔道大会

平成26年6月15日(日)、和歌山ビッグウエーブにおいて標記大会が、県内各地から低学年の部26チーム、高学年の部44チームが参加し、開催された。

開会式は、原会長の挨拶から始まり、ご出席いただいたご来賓よりご祝辞と激励のお言葉をいただき、九度山柔道クラブ、海堀陽弥選手が



兵庫県

第5回近畿少年柔道大会 第40回近畿ブロック柔道大会

平成26年7月27日(日)、高砂市総合体育館において標記柔道大会が開催された。

午前中に行われた第5回近畿少年柔道大会は、近畿ブロックの1府4県から小学4・5・6年生各4名が参加して個人戦が行われ、4年生の藤村心大君が優勝、望月孝太郎君が第3位、5年生の前田真生翔君が準優勝、片山凧君が第3位、6年生の桑形萌花さんが優勝、御影望君が準優勝。各学年とも兵庫県勢は、今年も好成績を収めた。

【結果】

小学4年生

優勝 藤村 心大 (兵庫・真道館)
準優勝 森本聡二郎 (滋賀・近江八幡柔道連盟)
第三位 望月孝太郎 (兵庫・兵庫少年こだま会)
〃 中居 優樹 (奈良・橿原市柔道クラブ)

小学5年生

優勝 向井 球真 (奈良・田原本柔道連盟)
準優勝 前田真生翔 (兵庫・兵庫少年こだま会)
第三位 片山 凧 (兵庫・神戸少年柔道舘クラブ)
〃 吉田 日和 (京都・志翔館柔道)

小学6年生

優勝 桑形 萌花 (兵庫・兵庫少年こだま会)
準優勝 御影 望 (兵庫・兵庫少年こだま会)
第三位 田倉 鉄平 (京都・東方館)
〃 藪井 雷土 (和歌山・近江少年柔道クラブ)



堂々とした選手宣誓を行った。

高学年優勝チームは、日整全国少年柔道大会への出場という大きな目標がある大会でもあるため、1回戦から決勝戦まで熱戦が繰り広げられた。

応援の方も、大きな声で仲間を一生懸命応援する姿が印象的で、大変盛り上がった大会となった。

試合結果は、次のとおり。

高学年の部		優秀選手
優勝	九度山柔道クラブ	入来院大樹
準優勝	松江少年柔道クラブA	榎本 帆高
3位	更生館道場A	四元 羅生
	貴志川スポーツ少年団A	桑原 有佑 中西 雄星

(敬称略)

低学年の部		優秀選手
優勝	健心館畠中道場A	味村 羽衣
準優勝	更生館道場A	西出 大毅
3位	練心館	貝尻 篤哉
	正木道場	大原 温玖 青田 龍也

(敬称略)

高学年優勝の九度山柔道クラブは、2年連続優勝を成し遂げ、10月に東京、講道館で開催される日整全国少年柔道大会に出場する権利を獲得した。昨年は、全国大会で1勝したが、今年も昨年以上の成績を収められるよう、目標を定めて頑張っていたきたい。

(広報員 出崎素之)



午後から行われた第40回近畿ブロック柔道大会では、兵庫県からは15名の選手が参加。前半



の紅白戦では試合に勝利した白川達也選手、矢根和紀選手、佐伯高志選手、磯田和伸選手、澤村誠四郎選手の5選手に優秀選手賞が授与された。

後半の日整全国大会予選を兼ねた年代別選手権大会では、20歳代の白川達也選手が準優勝、30歳代の矢根和紀選手が優勝、磯田和伸選手が準優勝、亀野真吾選手が第3位、40歳代の坊晃選手と澤村誠四郎選手が第3位、50歳代の雑賀昌盛選手が準優勝、大矢八平選手と川口雅也選手が第3位と兵庫県勢は好成績を収め、白川達也選手、磯田和伸選手、矢根和紀選手、亀野真吾選手の4名が日整全国大会代表の座を勝ち取った。

(広報員 本田 崇)

四国地域

香川県

第49回四国学術大会香川大会

【開会式・前夜祭】

平成26年8月30日(土)、午後6時30分からJRホテルクレメント高松3F「飛天の間」にて標記大会の開会式・前夜祭が開催された。浪越琢視大会実行副委員長による開会の辞が執り行われた後、工藤鉄男学術大会会長より挨拶をいただいた。はじめに、広島県土砂災害で被災された方々への哀悼を表明された。そして「重要な地域包括ケアシステムの構築の推進、これに伴って精力善用、自他共栄という考え方と、その人格形成への努力が大切である」と述べられた。

続いて、天雲俊夫香川県副知事、大西秀人高松市長、多数の衆参議院議員、県会議長の祝



▲石原会長

辞をいただいた。次に石原誠大会実行委員長より挨拶があり、ご来賓に対して、また本学術大会開催にあたり、後援、協賛いただいた関係各位、四国4県の会員の皆様、本大会実行委員に感謝の意が述べられた。「今年は四国霊場開創1,200年、瀬戸内海国立公園指定80周年という記念すべき年を迎え、空海生誕の地香川、瀬戸内海国立公園に面した高松で本学会が開催することができた。『県民とともに』をスローガンに今後も地域医療の充実、そして我われ柔道整復師を県民により理解していただくよう努めたい」と述べた。

木山時雨日整副会長による乾杯があり、前夜祭が開催された。第38回日整柔道大会四国ブロック代表選手の発表があり松本裕司監督より紹介された。(飛崎哲治、福井宏治、吉本大輔、古味直憲、多田慎吾、審判鎌倉和広)この後、萩原正和日整副会長が一致団結を期し、締め乾杯を行った。神高敏伸大会実行副委員長による閉会の辞が行われ前夜祭は終了した。

【学術大会】

平成26年8月31日(日)、午前9時からサンポート高松5F第2小ホールにて学術大会が開催された。特別講演から日整国際部の活動報告まで県民公開講座として一般公開された。

- ①長谷川修一香川大学工学部安全システム建設工学科教授による「南海トラフ巨大地震時における柔道整復師の役割」
- ②樫原禪澄総本山善通寺第57世法主真言宗善通寺派管長による「一笑一少^{ほっす}」
- ③日整国際部による国際部活動「草原に架かる虹を追ってーモンゴルでの記録ー」昼食をはさみ、日整保険部による「柔道整復師と介護



▲長谷川修一教授



▲櫻原禪澄善通寺管長



▲発表者

保険について」のランチョンセミナーが行われた後に、会員研究発表が行われた。

- ①アシカくん体操の骨盤後傾への効果・高橋知巳（愛媛）
 - ②投球障害への対応～合理的なフォームの指導・町田実雄（高知）
 - ③第67回香川丸亀国際ハーフマラソンにおける医療救護活動報告・砂川正人（香川）
 - ④膝関節ロッキングの一症例・氏家悟（香川）
- 以上の発表があった。

四国学術大会功労者として塩崎博道（愛媛）西川生男（高知）瀬野和博（徳島）丸尾芳孝（香川）の会員が表彰された。閉会の辞は浜野士朗（公社）愛媛県接骨師会会長が行い、学会は終了した。

（広報員 武田雄児）

愛媛県

平成26年度少年柔道大会

平成26年7月27日（日）、文部科学大臣杯争奪、第23回日整全国少年柔道大会第1回日整四国少年柔道大会・第5回愛媛県予選会、文部科学大臣杯争奪第4回日整全国少年柔道形競技会、第4回日整四国少年柔道形競技会、第3回愛媛県予選会が愛媛県県武道館にて開催されました。

梅雨も明け夏を感じ会場は汗ばみ、若い力がみなぎり、保護者および柔道整復師ならびに役員選手、約270人の出席をいただきました。10時から総務部久保悟委員の司会進行、大川健介大会副会長の開会宣言、浜野士朗大会長より挨拶、河野賢嗣（一社）愛媛県柔道協会会長より来賓祝辞をいただきました。魚崎陽一郎審判長より試合上の注意があり、津島柔道会竹長政弥選手による選手宣誓により、試合が始まりました。

各地域から16団体が参加され団体試合が行われました。試合結果は次のとおりです。

- ◎優勝 棟田武道館
- ◎準優勝 津島柔道会
- ◎第3位 城北柔道会

個人試合＜4年生の部＞参加者16名

- ◎優勝 近藤真依希（今治市越智郡柔道協会）
- ◎準優勝 高橋 颯葉（宇摩柔道会）
- ◎第3位 山本 英太（棟田武道館）

個人試合＜5年生の部＞参加者30名

- ◎優勝 長野 壮志（三津浜柔道会）
- ◎準優勝 越知 世成（拓南柔道会）
- ◎第3位 岡本 悠治（津島柔道会）

個人試合＜6年生の部＞参加者28名

- ◎優勝 平山舞人（棟田武道館）
- ◎準優勝 佐伯怜哉（棟田武道館）
- ◎第3位 竹長政弥（津島柔道会）

形競技会、7柔道会が演武され、結果は次のとおりです。

- 優勝 宇摩柔道会
- 【取】大西海空翔【受】土肥 大雅
- 準優勝 拓南柔道会
- 【取】清水 省吾【受】岡本雄一郎



▲浜野会長と日整大会代表選手

第3位 伊予柔道会

【取】松原 理子【受】井上 花恋

6年生優勝、準優勝者、5年生優勝、準優勝者、4年生優勝者、形競技優勝者の方は終了後今後の団体柔道出場について説明がありました。三宅喜八郎本会副会長による閉会宣言にて怪我もなく無事終了しました。

(広報員 井関澄男)



九州地域

沖縄県

第4回県民健康フェア2014

“ようきで元気なところとからだ”

平成26年8月17日(日)、県下の保健医療関係17団体で構成する沖縄県医療保健連合会(通称:なごみ会)が、「みんなでめざそう健康長寿」をキャッチフレーズに、県民の健康づくりについて専門的な立場から県民の健康福祉の向上を図ることを目的に県民健康フェアが開催された(=写真)。

各団体のブースにおいて、ポスター展示、各種健康相談や指導、血糖値検査などの各種検診、体験コーナーを企画するとともに、屋外でドクターヘリやドクターカーなどの展示が行われた。

本会のブースにおいても、ボランティア活動や受領委任払い制度などのパネル展示、テーピング実技(メディカルテーピング・スポーツテーピング)、整(接)骨院の掛かり方相談コーナーを設けたところ多数の来場者が訪れた。テーピング実技では、体験された来場者がその効果に驚かれる場面も多々あった。

今回は沖縄県知事も来場され、当会ブースも訪れ柔道整復師について質問され理解していた。

(広報員 國吉正人)

日本柔道整復師会のアンチエイジング講座

日本柔道整復師会のアンチエイジング講座がHPでご覧になれます。

平成26年3月28日から、自分らしく人生を仕上げる終活情報サイト「産経デジタル終活WEBソナエ」のアクティブライフのページに「日本柔道整復師会のアンチエイジング講座」の連載が始まりました。約3週間に一度更新されます。ぜひご覧ください。

日整ホームページ(<http://www.shadan-nissei.or.jp/>)にアクセスし、右に並んでいる「アンチエイジング講座」のバナーボタンをクリックすることで今まで掲載された記事が表示されご覧いただけます。

日整文芸

(作品は1人3首〈句〉までといたします)

【短歌】

福岡県 山下 智章
後鳥羽院筆「扶桑最初禪窟」
妙心寺展に勅額拝す

【俳句】

群馬県 鈴木 乗風

秋七草

秋燈下古りし叢書の後記読む
かの森の秋七草や寺参り
雨冷のなみださそふや枕経

東京都 伊藤 正信

こんなにも黒き土より貝割菜
生身魂扱ひされてゐるらしや
かなぶんの羽をたたためぬ死なりけり

長野県 根橋 平八

猛暑にサギソウ咲きぬ乱れ咲き
横川や滝とたわむるヒメボタル
山間は一人静かにアセビかな

福井県 田上 滋良

秋の海

一人居に小さな客やちろる鳴く
鬼灯の最後の種を出しきれず
行商の背丈を担う秋の海

【川柳】

北海道 阿部 篤夫

鮭釣り

釣りの旅大雪越えて知床へ
陽は昇る船は集結ウトロ沖
上がったぞ六キロ二〇〇大物だ

石川県 東 勝一

オリオンを軽く横切る宇宙ステ

下弦月清涼感で星一番

病人の窓に映え入る日の出かな

〈一般投稿〉

【短歌】

奈良県 長谷川治三郎

和秀

すがしさを夜明けの朝はとりどりの
花の色をも鮮やかにみゆ
ふじだなに柳模様垂れいでて
花の姿や夕陽にいろう
鴨川の浅瀬に流る水面に
落花浮びし春の絵模様

「日整文芸欄では一般の方々からの投稿を募集しております」

広報部

日整文芸は、会員の方に加え、一般の方々からも「短歌」「俳句」「川柳」を募集します。一般の方の投稿は、日本柔道整復師会会員を通じて、都道府県名、紹介会員名および連絡先、作品提出者名を明記の上、ご応募してください。

日整文芸を通じて読者の皆様とよい交流の場となればと願っております。

作品は会員と同じく1人3首〈句〉までといたします。多くのご応募をお待ちしております。

宛先 〒110-0007 東京都台東区上野公園16番9号
公益社団法人 日本柔道整復師会広報部
TEL: 03-3821-3511 FAX: 03-3822-2475
E-mail: kouhou@shadan-nissei.or.jp

編集後記

■文化の秋、芸術の秋。それぞれの分野で活躍され見事に花を咲かせられ叙勲や褒章などに輝かれた方々の言葉に心が洗われるようです。菊と日本晴れがよく似合います。そして、日本人3氏へのノーベル物理学賞。素晴らしい日本人の快挙です。そして小生は、食欲の秋。会員の先生方くれぐれも「〇〇肥ゆる秋」とならないようにアルコールと食事は程々に。

(晴天雀)

■今回229号の「私の夢」の中で、辰口さんは「人を笑顔にできるような人間になる」ということが私の人生のテーマであり目標であり、夢になったと…。その夢実現のために治療家柔道整復師としてどうあるべきかと問いかけた。

日常施術の中で、患者さんと正面から向き合い心の余裕を持っての対応には厳しいものがあるが、時には「先生と話しているだけで痛みが楽になった」と、笑顔での反応にほっとする。今だ、毎日

のように教えられることばかりで思うようにならないのが現実だ。辰口さん、「心を磨く」を忘れることなく頑張ってください。(多毛家)

■今年も、日整全国少年柔道大会・形競技会のビデオ撮影をさせていただきました。中学生のとき、柔道部のキャプテンをした経験がありますが一生懸命練習した懐かしい思い出が蘇りました。どのチームも素晴らしく監督チームが丸丸となって戦う姿に感動しました。出場選手の大変な練習と指導された先生方の計り知れないご苦労があったと思います。

広報誌では掲載しきれない大会の様態を日整のホームページで動画やスライド写真で配信中です。ぜひ関係者の皆様にお知らせくださり、多くの方々にご覧になっていただければ幸いです。(家真舵)

■本誌掲載の記事、柔整サロンの中で医療法人

北海道整形外科記念病院の加藤貞利院長は「この仕事は私にとって本当に天職で、仕事人生を通じて週末はもちろん楽しいけれど、月曜日が来るのもまた待ち遠しい」と述べている。まことに見習いたい考えである。

また、先生は「出会う仲間、出会う患者さんも同時代の人生をともに歩んでいる仲間であるということを中心に刻んで、丁寧に対応しようと考えている」とも述べている。

ブルーな気持ちで月曜日を向かえ、しかめっ面で仕事をするのではなく、ハッピーな気持ちで患者さんに接し、懇切丁寧に患者さんの言葉に耳を傾け、一日も早い回復に努めたい。

(魅家下)

■日整生涯学習研修会に参加し、大変興味深いお話が聞けました。

それは、日常当たり前なことを当たり前に行っていたものに、喝を入れられました。

「小笠原流礼法」この作法で毎日患者さんをお迎えできればもう少し増加するのかもしれないと思って聞き入っていましたが、直ぐにはできないため、気

持ちは「小笠原流」で行こうと思います。

(尾座和)

■「出かける前にどんな服を着ていこうかと考えるのは、人に対する礼の始まりである」。これは日整学術・生涯学習講習会で「日常に活かす武士の心得」と題して特別講演された小笠原礼法宗家・小笠原敬承斎先生の説いた一節である。演題と講師名からして、威厳のある男性をイメージしていたが、登壇されたのは気品に満ちあふれた女性であった。「人前で手を重ねるときは、左手を上にするのが良いでしょう。武士であれば右手で刀を抜かないことを意味しており、相手を気遣う動作です」(P.30参照)など、さまざまな礼儀作法とその理由を説明された。正しい作法は人間関係の潤滑油として好印象を与え、教養や良識を感じさせることを改めて痛感した。(多夢楽)



健康 ^{やわら} 柔体操

〈表紙解説〉

パッチワークの丘

公益社団法人北海道柔道整復師会 小山 真司

その一帯は、緩やかな曲線を描きながら七色の丘が続くことからパッチワークの丘と呼ばれる。

北海道美瑛町美田、その1コマである表紙写真は、カラマツが寄り添うように立つ、防風林の裾野畑でジャガイモの収穫が始まったところである。

昭和53年に、この丘で「マイルドセブン」のCMが撮影されたことから「マイルドセブンの丘」と呼ばれ、パッチワークの丘巡りの定番スポットの一つである。

ほかにも嵐の5本の木やセブンスターの木、ケンとメリーの木、親子の木などCM撮影、観光スポットとして北海道を代表する景勝地である。「北の国から」「優しい時間」などのロケ地である富良野市に隣接し見どころも多い。

なだらかな丘陵地に整然と立ち並ぶ木々の風景は、朝日に照らされ、夕日に染められその自然の魅力を更に増す。息を飲むほど美しい自然を楽しむに、北海道へ旅してみませんか？



平成26年11月20日発行

公益社団法人 日本柔道整復師会

〒110-0007 東京都台東区上野公園16-9

電話 (03)3821-3511 (大代表)

発行人 工藤 鉄男

編集者 永田 官久

制作・印刷所 東京リスマチック株式会社

光と音で知らせます♪

治療点の探索



(原寸大)



ココロケータ

新発売

治療点検索測定器

管理医療機器(特定保守管理医療機器) 販売名:セイリンロケータ 医療機器認証番号:225AABZX00195000

微弱な探索電流により皮膚に刺激を与えることなく、
治療点(低電気抵抗点)を探索します。

機器構成

本体、探索導子・握り導子

使用目的、効能又は効果

皮膚の電気伝導によって患者の皮膚で生じる
導電率を測定及び確認すること。

機器原理

内部電源による治療点検索測定器で、微弱な
探索電流により皮膚に刺激を与えることなく
治療点(低電気抵抗点)を探索します。

製品仕様

定格電源	DC9V、006P型電池(6F22、6LR61または同等品)
出力電流	14.6 μ A(50k Ω)、13.3 μ A(100k Ω)、5 μ A(1M Ω)
出力電圧	0.73V DC(50k Ω)、1.33V DC(100k Ω)、5V DC(1M Ω)
出力周波数	DC
本体の寸法	幅61mm、高さ100mm、奥行き35mm
ケーブル長	1.53m(導子の長さ含む)
重量	75g(本体のみ)、約185g(総重量)

■製造販売業者

セイリン株式会社
ISO13485 認証取得

〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町1007-1
TEL.054-365-5700 FAX.054-365-5139
<http://www.seirin.tv>

0120-100890
(通話料無料ダイヤル)

赤外線治療器

デモ機 無償貸出
サービス実施中!

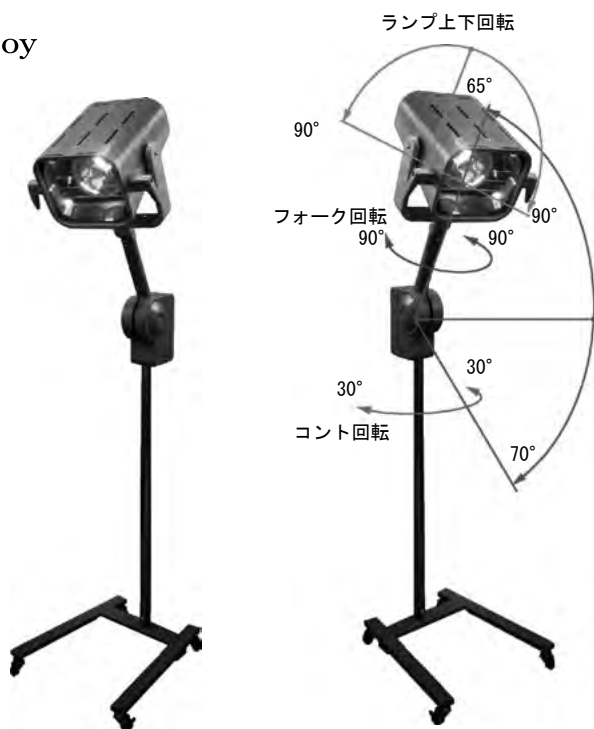
☎ 046-274-8822

SKIP-SERIES

— 抜群の操作性と軽さで芯から暖める —

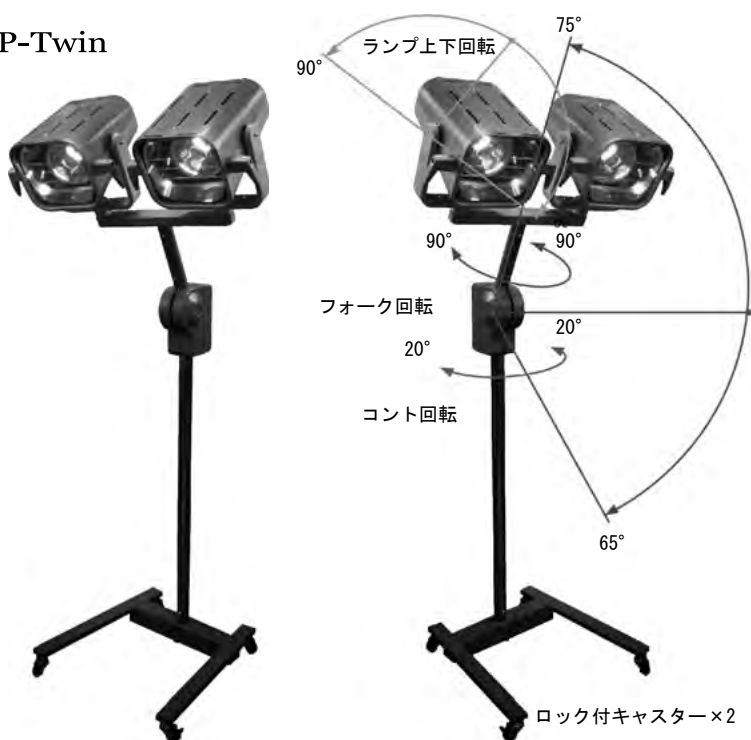
www.tama-ray.com

SKIP-Boy



品番	TRS-D1
赤外線ランプ	300W
懸乗方式	スプリング
ランプ下70°時	床から約50cm~60cm
タイマー	0~30分連続可変
光量調整	0~97V連続可変
電源	単相AC100V 50-60Hz
外形寸法	約460×676×1168mm
重量	約13.5Kg
効能・効果	温熱効果
薬事承認番号	16200BZZ00587000

SKIP-Twin



品番	TRS-D2
赤外線ランプ	300W+300W
懸乗方式	スプリング
ランプ下65°時	床から約50cm~60cm
タイマー	0~30分連続可変
光量調整	0~97V連続可変
電源	単相AC100V 50-60Hz
外形寸法	約680×776×1200mm
重量	約24Kg
効能・効果	温熱効果
薬事承認番号	16300BZZ00097000

クラスII 特定保守管理医療機器



株式会社 タマレイ

TEL:046-274-8822 FAX:046-274-8826 e-mail: info@tama-ray.com

国民年金基金 は公的な年金制度であり

☆掛金は全額「社会保険料控除」の対象となり
所得税や住民税が軽減されます。

☆受け取る年金にも、「公的年金等控除」があり、
大変有利な扱いとなっています。

税金がこんなに有利！

掛金を収めているときは

掛金は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税が軽減されます。

掛金が年額457,560円の方で課税所得が500万円の
35歳0月の男性の場合（年金月額6万円で加入した場合）

1口目A型（12,710円）、2口目以降A型に4口（6,355円×4口）加入した場合

●年間の掛金 …………… 457,560円×（所得税率20.420%+住民税10%）
= 139,190円 軽減

●実質の負担（年間）… 318,370円になります。

所得税率表

課税所得額	195万円以下	195万円超～330万円以下	330万円超～695万円以下	695万円超～900万円以下	900万円超～1,800万円以下	1,800万円超～
税率	5.105%	10.210%	20.420%	23.483%	33.693%	40.840%

※住民税は一律10%です。



65歳から年金を受け取るときも

公的年金等控除の対象となりますので、年金以外に収入がない場合、お一人お一人158万円までは、税金がかかりません。



※国民年金の年金月額6.5万円は、20歳から60歳までの40年間、保険料を納付した時の平成25年度の満額です。
※国民年金基金の年金月額は、夫婦とも35歳0月で1口目終身年金A型、またはB型、2口目以降、終身年金A型・B型と確定年金I型・II型・III型・IV型・V型のうち、7つの型から4口選んだ場合。

【年金額・掛金額例】1口目A型の場合（月額）

	男性			女性		
	加入時年齢	年金月額	掛金月額	加入時年齢	年金月額	掛金月額
	25歳0月	20,000円	8,370円	25歳0月	20,000円	9,780円
	30歳0月	20,000円	10,170円	30歳0月	20,000円	11,880円
	35歳0月	20,000円	12,710円	35歳0月	20,000円	14,850円
	40歳0月	15,000円	12,405円	40歳0月	15,000円	14,490円
	45歳0月	15,000円	17,235円	45歳0月	15,000円	20,115円
	50歳0月	10,000円	17,940円	50歳0月	10,000円	20,930円

※加入の型などお悩みでしたら、ご希望に合うマイプランをお作りすることも可能です。お気軽にお問合せください!!

お問い合わせ

日本柔道整復師国民年金基金 ☎0120-305205

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-22-8 イツカビル8階 ☎03-3253-0701 FAX専用 ☎0120-505405
ホームページ <http://www.juuseikikin.or.jp>

あなたとご家族の安心のため アフラックのがん保険・医療保険 準備されてはいかがですか？

アフラックは
がん保険・医療保険
契約件数 **No.1**
平成25年版「インシュアランス生命保険統計」

生きるための がん保険 Days

特長 1

入院はもちろん、三大治療
(手術・放射線・抗がん剤) による通院は
日数無制限で保障

特長 2

抗がん剤治療は通算 600 万円
まで保障

特長 3

プレミアサポートで、がん専門相談
サービスを利用できます
(サービス提供事業者：機法研)

《スタンダードプラン》

入院給付金日額10,000円コース

保険期間：終身(抗がん剤治療特約は10年)

診断給付金	がんの場合		上皮内新生物の場合	
	一時金として (それぞれ1回限り)	100万円	10万円	10万円
入院給付金	1日につき 1万円	通院給付金	1日につき 1万円	
手術治療 給付金	1回につき 20万円	放射線治療 給付金	1回につき 20万円	
抗がん剤治療 給付金*	抗がん剤治療を受けた月ごとに			
	1か月 10万円 給付倍率2倍	乳がん 前立腺がんの ホルモン療法 のとき	1か月 5万円 給付倍率1倍	

一生
生涯
保障

10
年
満
期
(自動更新)

* 上皮内新生物は対象外

ちゃんと応える 医療保険 NEVER

特長 1

がんを含む病気やケガの保障が
一生続く

特長 2

5日未満の入院の場合、一律
5日分の入院給付金をお支払い
一定期間内に再入院した場合の入院給付金のお支払い
についてはパンフレットをご確認ください。

特長 3

退院後 120 日以内の通院と
入院前 60 日以内の通院を保障

《通院ありプラン》

入院給付金日額10,000円コース

保険期間：終身

疾病入院給付金 災害入院給付金	日帰り入院から入院5日目まで		入院6日目以降	
	一律5日分	5万円	1日につき	1万円
手術 給付金	手術	入院あり(重大手術を除く) 1回につき	入院なし(重大手術を除く) 1回につき	5万円
	重大手術	がんに対する開頭・開胸・開腹 手術や心臓への開胸術など	1回につき	40万円
放射線 治療給付金		1回につき	10万円	
疾病通院給付金 災害通院給付金		1日につき	6,000円	

一生
生涯
保障

● 入院給付金日額については、契約年齢、ご職業などによりアフラック基準の限度額を定めております。

プラス

どちらの保険も『先進医療の保障』をプラスできます！

アフラックの「がん保険」「医療保険」に付加する
先進医療の特約は、被保険者お1人につき通算し
て1特約のみのご契約となります。

保障の対象となる先進医療は、厚生労働大臣が認める医療技術で、医療技術ごとに適応症(対象となる疾患・症状等)および実施する医療機関が
限定されています。また、厚生労働大臣が認める医療技術・適応症・実施する医療機関は随時見直されます。

詳細につきましては、パンフレット(契約概要)をご覧ください。

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。

資料請求は
こちらまで

募集代理店
国際保険株式会社
東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSBビル4F



0120-5931-98

フリーダイヤル 営業時間 平日(月～金)9:00～17:15

引受保険会社

Aflac アフラック
(アメリカンファミリー生命保険会社)

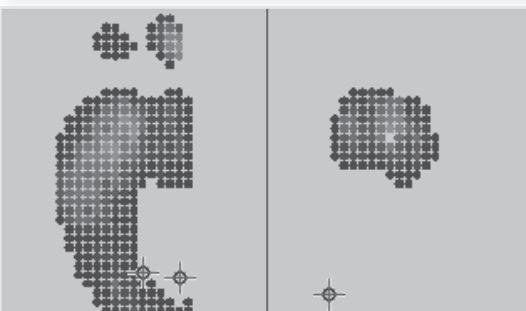
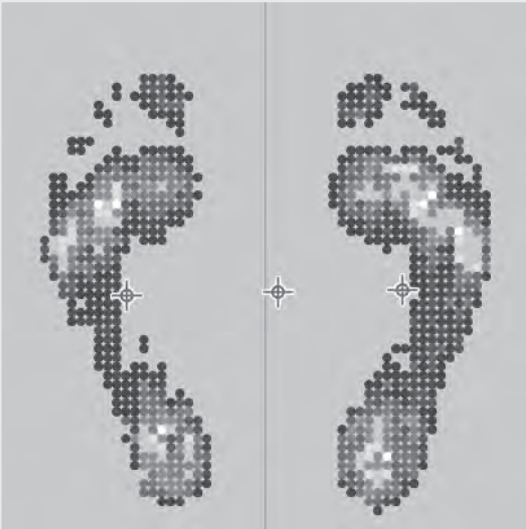
首都圏総合支社
東京都新宿区西新宿 1-23-7 新宿ファーストウエスト 17 階
当社保険に関するお問合せ・各種手続き コールセンター 0120-5555-95

足底測定システム

Foot Navi



さらに専門家の知見をソフト化した
判定システムです。



本システムは靴販売店頭においてパソコンに接続することによって購買者の足を計測することができ、その診断によって、正確な足サイズと足の状態を判定することができます。靴販売店はそのデータをもとにその購買者に適合するインソールを選定し、購買者に快適な靴を適正価格にて販売することができ、健康ニーズに適合した靴の販売を促進することができます。

Analysis & Navigation

1. 足底圧から足の状態を自動判別できる。
2. 足長・足幅・足底圧が同時に計測できる。
3. さまざまな用途展開ができる。

サービス提供のキーワード

COMFORT
快適性

個々の足にフィットした快適なインソール(靴)を提供できます。

CONVENIENCE
利便性

操作は簡単。専門家でも購入者に適したインソールを販売できます。

PROMPTNESS
迅速性

計測時間はわずか10秒。Foot Navi 全て通しても1分もあれば完了です。

お問い合わせ

株式会社 COMFORT LAB 〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北 1-4-17
TEL 06-6748-1555 / FAX 06-6748-1556 / URL www.comfort-lab.com



安心のために できることのすべてを

損保ジャパンと日本興亜損保は2014年9月1日に合併し、新会社「損保ジャパン日本興亜」
としてスタートいたしました。日本でいちばん大きな安心をお届けするために、これまでの損保に
できなかったことに取り組み、これからの損保に本当に必要なサービスを提供してまいります。

損保ジャパン日本興亜、誕生。

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

Tel: 03(3349)3111 <http://www.sjnk.co.jp/>

日本柔道整復師 協同組合員 のみなさまへ

毎月ご加入
できます！

日整協同組合 「新・柔道整復師賠償保険制度」は 「鍼灸師賠償」がオプションとして加入できます！！

「新・柔道整復師賠償保険」では、「柔道整復師業務」の賠償事故だけでなく、任意オプションで
「鍼灸師などの業務」「日常生活」「個人情報漏えい」の賠償事故も補償できます！！

基本プラン

「基本プラン」は以下による賠償事故を補償します！

「柔道整復師業務」

(柔道整復師特約)

「院内施設の不備」

(施設危険担保特約)

「院内施設でのケガ見舞金」

(傷害見舞費用担保特約)

任意オプションプラン (任意に1つからでも選択できます)

「任意オプションプラン」は以下による賠償事故を補償します！

①「鍼灸師などの業務」

(はり師、きゆう師
あん摩・マッサージ・指圧師特約)

②「日常生活」

(個人賠償責任保険)

③「個人情報漏えい」

(個人情報取扱事業者保険)

*「任意オプションプラン」だけのご加入はできません。必ず「基本プラン」とのセットでのご加入となります。

総合補償制度(所得補償・医療補償等)

病気・ケガ・交通事故による所得減・医療費等をトータルで補償します！！

毎月ご加入
できます！

(所得補償保険、新・団体医療保険、交通事故傷害保険)

40%割引！

(団体割引20%+過去の損害率による割引25%)

日整協同組合
ならではの
割引です！

(団体長期障害所得補償保険)

20%割引！

(団体割引20%)

ご契約の際、被保険者数が1,000名未満もしくは5,000名以上になった場合、保険料が変更となります。

この内容は概要を説明したものです。詳しい内容については、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜営業店にお問い合わせください。

<引受保険会社>

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3

団体・公務開発部 第二課

(TEL)03-3593-6453 (FAX)03-3593-6751

<取扱幹事代理店>

アームリンク 株式会社

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-43-6 真塩ビル2F

(TEL)027-255-3233 (FAX)027-280-4659

SJNK14-06221 (2014.8.6)

「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

迷惑電話でお困りの先生方へ

お使いの電話機につなぐだけで、様々な迷惑電話・FAXをブロックできます。

トビラフォン



インターネット販売
教材販売
不動産投資など



広告
融資

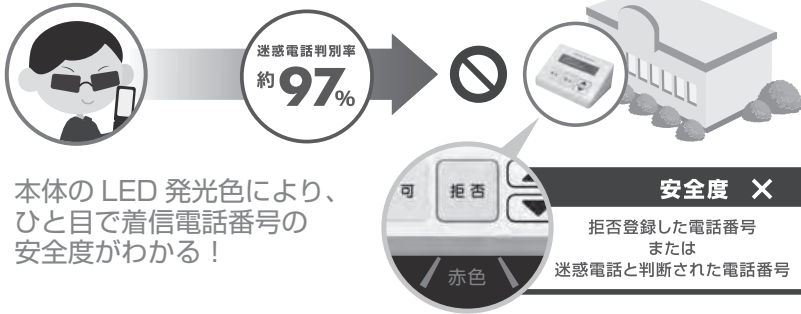
初期費用 **2,000円** (税抜)
月額費用 **300円** (税抜)

1年分一括払い

別途、送料が必要となります

未知の迷惑電話番号でも拒否できます

未知の迷惑電話番号からの着信も拒否



本体のLED発光色により、ひと目で着信電話番号の安全度がわかる！

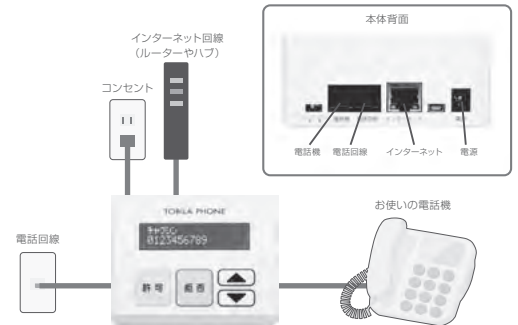
迷惑電話判別率
約 **97%**

安全度 **X**

拒否登録した電話番号
または
迷惑電話と判断された電話番号

導入が簡単

線をつなげばすぐ使えます※2※3



お客様の声



千葉県 / 高橋先生

患者さんに集中できるようになりました

私は1人で仕事をしているので、電話が鳴れば施術中でも手を止めて出なければなりません。その電話が迷惑電話や迷惑FAXだったときには、強い憤りを感じます。すぐにでも切りたい電話ですが、患者さんがいらっしゃる手前あまり強い口調で断ることもできず、相手に長く話す隙を与えてしまい、なかなか電話を切ることが出来ませんでした。患者さんを待たせることにもなりますし、迷惑電話には本当に困っていました。

トビラフォンを付けてからは、予約のお客様や取引先からなどの必要な電話以外は自動的に拒否してくれるので、より施術に集中できるようになり満足しています。

メディア掲載情報



警察・自治体との実績

- 【警察】 警視庁、千葉県警察、埼玉県警察
- 【自治体】
- | | |
|------|-------------------------------|
| 山形県 | 酒田市、米沢市 |
| 埼玉県 | 和光市 |
| 千葉県 | 市川市、四街道市、柏市 |
| 東京都 | 西東京市、杉並区、三鷹市、武蔵野市、狛江市、日野市、小平市 |
| 愛知県 | 一宮市、岩倉市 |
| 三重県 | 名張市 |
| 岡山県 | 井原市 |
| 鹿児島県 | 霧島市 |

<利用条件>

- 番号表示サービス (ナンバーディスプレイ等)
- インターネット (ルーターやハブ等により、複数の端末 (パソコンなど) がインターネットをご利用いただける環境)

*1 迷惑電話対策のバイオニアとして国内初の個人向け迷惑電話フィルタサービス「トビラフォン」を2011年にサービス化させ、高い精度の迷惑電話着信判別システム (特許取得) を実現し、株式会社ウィルコムと共同で「迷惑電話チェッカー」を提供。警視庁、千葉県警察、埼玉県警察、その他多くの自治体と共同で電話による消費者被害防止に取り組んでいます。

*2 インターネット回線を利用するため、ルーターやハブなどと接続する必要があります。

*3 電話線 (1m)、LANケーブル (2m) が付属します。

伝統と歴史を刻み、
進化する未来へ。

呉竹学園は、
今までも、これからも、
時代に適応した人材を育成し、
社会に貢献する努力を続けます。



学校法人
呉竹学園
Established 1926



<http://www.kuretake.ac.jp/>

東京医療専門学校

〒160-0008 東京都新宿区三栄町3

TEL:03-3341-4043

伝統医療と現代理論の融合。

東京医療専門学校は、十分な知識・技術を持った上で
柔軟な思考のできる懐の深い医療人の育成を目指します。



呉竹鍼灸柔整専門学校

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-7-24

TEL:045-471-3731

社会の信頼と尊敬を得る医療人の育成。

呉竹鍼灸柔整専門学校は、人格形成に力を注いだ教育により
社会の信頼と尊敬を得る医療人を育成します。



呉竹医療専門学校

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-185-1

TEL:048-658-0001

社会ですぐに活躍できる“あなた”になるために。

医の東西を問わず十分な知識と技術を備え、
全人的医療を施すことの出来る医療人を育成します。



笑顔を、まもる。

「最高品質の安心とサービスをご提供することで、
お客さま一人ひとりの輝く笑顔を見守りつづけたい」
これが損保ジャパン日本興亜ひまわり生命の想いです。



損保ジャパン日本興亜 ひまわり生命

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社

＜お問い合わせ先＞

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社 群馬支社

〒371-0023

群馬県前橋市本町1-4-4 損保ジャパン日本興亜前橋ビル7階

TEL 027-223-5126 FAX 027-223-5136

＜本社＞ 〒163-8626

東京都新宿区西新宿6-13-1 新宿セントラルパークビル

TEL 03-6742-3111(代表)

ホームページアドレス <http://www.himawari-life.co.jp>

公益社団法人日本柔道整復師会の皆さまへ

MS&AD

三井住友海上

柔道整復師会総合賠償保険

(柔道整復師特別約款・施設所有(管理)者特別約款)

昭和47年より日本柔道整復師会の会員の皆さまを
柔道整復業務にかかわる事故からお守りしています。

保険期間: 毎年11月1日から1年間

募集期間: 9月～10月下旬

【特徴】

- 日本柔道整復師会と三井住友海上とが会員の皆さまのために開発した保険です。
- 地域支援事業における介護予防事業に従事中の事故も補償いたします。
- 患者様が施術所内でのケガにより通院された場合の患者様へのお見舞金等も補償いたします。

所得補償保険

病気・ケガでの休業を補償いたします。

保険期間: 毎年8月1日から1年間

補償期間: お申込日の翌月1日午後4時～平成27年8月1日午後4時

※随時中途加入のお申込みを受け付けております。

【特徴】

- 業務中・業務外を問わず病気・ケガで就業不能となり、休診された時の収入を補償します。
- 保険料は約**52%割引**であり、個人でご契約されるよりお得です。
(団体割引20%+損害率による割引(注)40%)

(注) 損害率により、毎年割引率が見直しされます。

上記割引率は平成26年に保険期間を開始した契約のものです。

※この内容は保険の特徴を説明したものです。詳しい内容については、専用パンフレット「日本柔道整復師会総合賠償保険のご案内」「日本柔道整復師会所得補償保険・団体長期障害所得補償保険(GLTD)・団体総合生活補償保険(MS&AD型)のおすすめ」をご参照いただくか取扱代理店または三井住友海上の営業店にお問い合わせください。

<団体窓口>

公益社団法人日本柔道整復師会 事務局 TEL03-3821-3511

<引受保険会社>

三井住友海上火災保険株式会社

広域法人部営業第一課

〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-11-1

TEL03-3259-6692 FAX03-3259-7218

<主要取扱代理店>

株式会社ウーベル保険事務所

〒104-0041 東京都中央区新富 2-4-5 ニュー新富ビル 8F

TEL03-3553-8552 FAX03-3553-8553

三四郎くん

は、日本全国で最も多く使われている
接骨院・整骨院専用のレセコンです！



使い勝手の良い操作性はもちろん、療養費改正等の保険改正にすばやく対応。迅速サポートでご好評を頂いている「三四郎くん」は、常に進化を続ける信頼と実績の事務管理ソフトです。

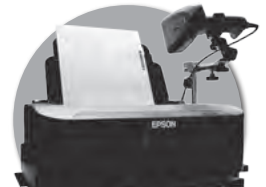
オプションで
さらに便利!



保険証リーダー



サーマルプリンタ



バーコードシステム

超音波画像観察装置

骨・軟骨・筋・腱・靭帯などがリアルタイムに観察できます。



サムスン電子ジャパン
MySono U6
医療機器認証番号
第 224AFBZX00078000 号

本多電子
HS-2200
医療機器認証番号
第 225AHBZX00034 号



日立アロカメディカル

Noblus

医療機器認証番号
第 224ABBZX00092000 号



その他、様々な機種を取り揃えております。

SSB 株式会社 **エス・エス・ビー**

WEB | <http://www.sanshiro-net.co.jp>

本社 | 〒305-0853 茨城県つくば市榎戸748-2 沼尻産業ビル
TEL 029-839-0346 / FAX 029-838-0874

営業所 | 札幌、青森、仙台、北陸、長野、名古屋、関西、中国四国、福岡、鹿児島

最新柔整情報が読める!! 柔整ホットニュース

▶▶▶ <http://www.jusei-news.com/>



柔道整復師倫理綱領

国民医療の一端として柔道整復術は、国民大衆に広く受け入れられ、民族医学として伝承してきたところであるが、限らない未来へ連綿として更に継承発展すべく、倫理綱領を定めるものとする。ここに柔道整復師は、その名誉を重んじ、倫理綱領の崇高な理念と、目的達成に全力を傾注することを誓つものである。

- 1、柔道整復師の職務に誇りと責任をもち、仁慈の心を以て人類への奉仕に生涯を費く。
- 2、日本古来の柔道精神を涵養し、国民の規範となるべく人格の陶冶に努める。
- 3、相互に尊敬と協力を努め、分をわきまえ法を守り、業務を遂行する。
- 4、学問を尊重し技術の向上に努めると共に、患者に対して常に真摯な態度と誠意を以て接する。
- 5、業務上知りえた秘密を厳守すると共に、人種、信条、性別、社会的地位などにかかわらず患者の回復に全力を尽す。